

令和4年度 事業報告

目次

I 令和4年度 事業活動報告	P. 3
1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承	
(1) 芸術文化公演の企画、運営及び提供	P. 5
(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供	P. 9
(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進	P. 12
(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力	P. 20
2 芸術文化活動の促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営	
(1) アクトシティ浜松	P. 27
(2) クリエート浜松	P. 31
(3) 浜松市浜北文化センター	P. 34
(4) 浜松市なゆた・浜北	P. 37
(5) 浜松市天竜壬生ホール	P. 39
(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）	P. 42
3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展	
(1) 浜松市楽器博物館	P. 46
(2) 浜松文芸館	P. 51
(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北	P. 55
(4) 浜松市秋野不矩美術館	P. 57
II 令和4年度 管理事項報告	
1 会議に関する事項	P. 60
2 役員等に関する事項	P. 62
3 職員に関する事項	P. 64

I 令和4年度 事業活動報告

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルスによる制約も3年目を経過し、社会の流れは感染防止対策とともに社会経済活動の正常化に向けて動き出しました。

当財団では、このような社会の変化を踏まえ、感染防止対策の徹底と芸術文化活動の積極的な推進を両立する適切な運営に努めました。

年度の前半は、経済活動の動きとともに所管施設の稼働も回復傾向が見られ、経営的に明るい兆しを感じていましたが、秋頃からウクライナ情勢の長期化によるエネルギーをはじめとする物価高騰が運営を圧迫する状況となりました。エネルギーコストの上昇は、節減等の努力を超えた厳しい内容となりましたが、小さいながらも改善等により効率を意識した努力を重ね、安定的な運営を目指しました。

今後におきましても、芸術文化が活力を生む創造性豊かな浜松市の実現のため持続的に安定した運営に努め、市のパートナーとして中間支援機能を十分に発揮できるよう努力していきます。

2 芸術文化振興への主な取り組み

(1) 芸術文化公演の企画運営について

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めるなかで、海外からの招致公演のほかバレエやミュージカル等の大型舞台公演、浜松ゆかりのアーティストや今後に期待される若手演奏家にスポットをあてた事業など多彩なジャンルの公演を開催することができました。

特に、浜松国際ピアノコンクール優勝者でありウクライナ出身のアレクサンダー・ガヴリリュク氏による演奏会は、市が進めるウクライナ人道支援チャリティーとして開催し平和への思いを共感する機会となりました。

年間を通した来場者の状況については、コロナ禍により遠のいた客足が経済活動の動きとともに戻りつつあるものの、話題性のある一部の演目を除き、総じてコロナ禍以前の約3割減となっています。これは主に、コアなファンであった高齢者層の来場が戻っていないこと、さらには全ての年代でエネルギーをはじめとする物価高騰などが家計に打撃を与え、娯楽面での経費に影響を及ぼしているものと推測しています。

厳しい社会状況下においても、足を運んでいただける・選んでいただける魅力や価値とは何かを考え、具現化していくことが重要と認識しています。

(2) 芸術文化活動等の支援について

当財団が担っている芸術文化事業を起点として、人と人、人と活動等をつなげ、交流などにより市民主体の文化的な活動をより活性化させるなど、中間支援の機能を最大限に発揮した取り組みに努めました。

活動単体で解決困難な案件について、つなげることで新たな展開へのきっかけを生み出すことが重要と考えます。

また、アーツ&クリエイションにおいては創造性ある活動に取り組む人材の発掘・育成・交流を促進するため、市民活動支援セミナー等の開催や浜松市創造都市推進事業補助金業務を通して、広報協力等の伴走支援などに取り組みました。

(3) 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

浜松国際ピアノコンクール事業については、コンクールが輩出したピアニスト等とのネットワークを活かし浜松オリジナルとなる公演を開催するなど、次回第12回（2024年）開催に向けた機運醸成につながる取り組みを進めました。

また、次代の芸術文化の担い手の育成については新型コロナウイルスによる制約の緩和とともに、こども音楽鑑賞教室事業（市内全小学5年生を対象）の3年ぶりの開催をはじめ、その他の事業も本格的に稼働することができました。

3 所管施設の運営について

(1) 指定管理施設の運営について

令和4年度は、10施設の指定管理を受託しました。

受託にあたっては、指定管理者協定に基づく適正な管理運営に取り組みました。特に感染防止対策の徹底と芸術文化活動を両立する適切な運営に注力しました。

年度の後半、原材料価格やエネルギーコストの上昇などが施設管理に影響を及ぼす厳しい運営を経験しました。この状況は、令和5年度においても続くものと推測しています。

新規の指定管理施設となる秋野不矩美術館については、秋野不矩の創造性の原動力を研究し発信する使命を担うため、浜松市美術館との相互連携により展覧会や調査研究の充実に取り組みました。

また各施設では、イベントに併せてマルシェの開催、周辺企業や大学等との協力事業など、地域との連携による活性化にも努めました。

その地域・施設の特長を活かした企画を示し、施設としての価値を創り出していくことが重要と認識しています。

(2) 施設の利用促進について

コロナ禍における施設の利用促進を図るため、地域の実態、利用者のニーズなど施設ごとの特徴をつかみ、適切な対応に努めました。

特に、コンベンション需要が高いアクロシティ浜松では、充実した通信環境や利用方法を積極的にPRするとともに、催事開催に必要な備品のレンタル等を主催者に代わって手配するサポートサービスのさらなる充実を図るなど、利用者の事業を成功に導く運営に努めました。

各施設においても利用者との信頼関係を丁寧に築き、施設の機能を有効に活用する運営方法の提案に努めました。施設の利用促進には、社会の変化に柔軟に対応できる施設運営が重要と考えます。利用者の声を吸い上げ、トライ&エラーを重ねながら最適な手法を見つけ出すことが基本と認識しています。

4 法人経営について

令和4年度、社会の変化に柔軟に対応するため、創造性をもって行動する職員の育成を目指しました。

前年度に引き続き全職員が業務改善に取り組み、119件の実績を共有することができました。知恵を絞り行動に移す努力により、財団の運営力も高まりました。

また、大規模地震や風水害などの危機時の対応についても、舞台関係者等と一体となり、より実践を意識した訓練に取り組みました。

今後においても、引き続き、様々な危機をチャンスと捉え、自ら考え工夫する創造性ある職員の育成に努めていきます。

1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

(1) 芸術文化公演（鑑賞型）の企画、運営及び提供

① 事業総括

令和4年度は、新型コロナの感染拡大状況などを見極めるなかで、海外からの招聘公演のほか、歌舞伎、バレエ、ミュージカル等の大型舞台公演などを企画し、多彩なジャンルの公演を展開しました。

大型舞台公演では、森下洋子率いる松山バレエ団の代表作「ロミオとジュリエット」、日本初演30周年記念公演として開催された大型ミュージカル「ミス・サイゴン」、3年ぶりの開催となる「松竹歌舞伎舞踊公演」を開催しました。世界的なアーティストを招く「アクト・プレミアム・シリーズ」では、日本への入国規制が撤廃されたことを受け3年ぶりに本格的な開催にこぎつけました。また、新進気鋭の若手アーティストを紹介する「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」も継続開催しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「アクト・プレミアム・シリーズ」では、ウィーン・フィルとベルリン・フィルの首席奏者5人による木管五重奏団アンサンブル・ウィーン＝ベルリンや第4回浜松国際ピアノコンクール優勝者で国際的に活躍するピアニスト、アレクサンダー・ガヴリリユクなど4公演を開催しました。
- ・オーケストラ事業では、大人気ピアニスト反田恭平が佐渡裕・新日本フィルハーモニー交響楽団とともに登場、また静岡県内唯一の常設プロ・オーケストラとして活動している富士山静岡交響楽団も5回の定期演奏会を実施しました。
- ・「アクト・ニューアーティスト・シリーズ」では、ピアノ、室内楽、ハープ、声楽など多彩なジャンルで開催しました。昨年度中止としていた1公演を組み込み、計6公演となりました。
- ・クラシック公演のほか、中川晃教らミュージカル界を担うスターたちによる「Brand New Musical Concert 2022」、ヴァイオリニスト・古澤巖と俳優・山本耕史によるエンターテインメントステージ「Dandyism Banquet」、人気歌手、手嶌葵がオーケストラとともに登場した「手嶌葵 Symphonic Concert 2023」、展示イベントホールで開催した「ざんねんないきもの事典 in アクトシティ浜松」など多彩なジャンルの公演を開催しました。
- ・浜松ゆかりのアーティストの公演として、日本を代表するピアニスト仲道郁代、数々の国際コンクールでの受賞歴を持つ浜松在住のチェリスト横坂源のリサイタルのほか、浜松在住の女優、熊谷真実が主演する演劇「世襲戦隊カゾクマン」を開催しました。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)					
No. 133 景 晨陽 (ハープ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/8	182	100%	第21回大阪国際音楽コンクール 第1位
No. 134 老川 鈴唄 (ソプラノ)		7/10	146	85.9%	第23回日本演奏家コンクール 第1位
No. 135 千葉 遥一郎 (ピアノ)		9/25	159	93.5%	2021年モントリオール国際コンクール 第2位
No. 136 トリオ・クッフオ (ピアノ三重奏)		12/4	156	91.8%	ワールドオープン音楽コンクール 第1位
No. 131 外村理紗 (ヴァイオリン)		1/7	111	79.3%	インディアナポリス国際ヴァイオリン コンクール第2位 (令和4年度からの振替公演)

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
No. 137 クアルテット・インテグラ (弦楽四重奏)		2/12	159	89.4%	バルトーク国際コンクール 2021 第1位
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開。)					
Vol. 26 ワディム・レーピン (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 中ホール	7/8 中止	-	-	神童から巨匠へ、進化を遂げる現代最高のヴァイオリニスト。(本人の来日がかかわらず中止。)
Vol. 27 河村尚子 (ピアノ)		8/31	297	29.5%	クララ・ハスキル国際コンクール優勝、ドイツを拠点に国際的に活躍するピアニスト。
Vol. 28 アンサンブル・ウィーン＝ベルリン (木管五重奏)		9/28	513	50.9%	ウィーンとベルリンの主要オーケストラのトップ奏者によって構成される世界最高峰の木管五重奏団。
No. 29 ジャン＝ギアン・ケラス (チェロ)		12/20	361	35.8%	現代最高峰の人气と実力を誇るチェリスト。浜松だけの特別ゲストとして、ケラスに6年間師事した横坂源を迎え師弟共演が実現。
No. 30 アレクサンダー・ガヴリリュク (ピアノ)		2/16	479	47.5%	浜松国際ピアノコンクールを16歳で優勝、圧倒的なテクニックと表現力で聴衆を魅了するピアニスト。ウクライナ人道支援チャリティコンサートとして実施。
富士山静岡交響楽団 定期演奏会 浜松公演					
第110回	アクトシティ浜松 中ホール	5/29	397	-	指揮：尾高忠明 チェロ：横坂源
第111回		6/26	865	-	指揮：広上淳一 ピアノ：アレクサンダー・ガジェヴ
第113回		9/18	447	-	指揮：山下一史 ピアノ：児玉桃
第115回		11/20	302	-	指揮・チェンバロ：高関健 ソプラノ：浜田 理恵 テノール：松原 陸 バス：加藤 宏隆 合唱：県民参加による合唱団、音楽青葉会・静岡児童合唱団
第117回		3/5	346	-	指揮：高関健 ヴァイオリン：ティモシー・チューイ

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代ピアノ・リサイタル					
Vol.5 「知の泉」	アクトシティ浜松 中ホール	5/21	754	74.8%	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
vol.6 「前奏曲」		10/16	521	51.7%	
フジコ・ヘミング スペシャルコンサート	アクトシティ浜松 大ホール	4/25	1,758	77.3%	「魂のピアニスト」フジコ・ヘミングとスロヴァキア放送響首席指揮者、マリオ・コシック指揮、東京フィルハーモニー交響楽団の協演。 共催：コンサート・ドアーズ
歌舞伎プレセミナー	アクトシティ浜松 コンGRESSセンター 41 会議室	5/7	100	66.7%	松竹歌舞伎舞踊公演に先駆け、歌舞伎の基礎知識や見どころを分かりやすく解説するセミナーを開催。 講師：葛西聖司
佐渡裕（指揮） 反田恭平（ピアノ） 新日本フィルハーモニー 交響楽団 50周年記念演奏会	アクトシティ浜松 大ホール	5/25	2,174	97.3%	日本を代表する指揮者佐渡裕と2021年ショパン国際ピアノコンクールで第2位となった大人気ピアニスト反田恭平コンビが再共演。オーケストラは新日本フィルが登場。 共催：静岡朝日テレビ
松山バレエ団 「ロミオとジュリエット」 スペシャルバージョン	アクトシティ浜松 大ホール	5/28	1,024	51.6%	日本を代表するバレエ・カンパニーである松山バレエ団の引っ越し公演。 共催：(公財)松山バレエ団
ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの 2022	アクトシティ浜松 大ホール	6/4	2,034	—	ディズニー音楽を物語を紡ぐ映像とともに日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお届け。 共催：K-mix
令和4年度 松竹歌舞伎舞踊公演	アクトシティ浜松 大ホール	7/18	1,199	54.0%	コロナ禍、2年間中止となっていた歌舞伎公演。 出演：中村芝翫 ほか 演目：操り三番叟、連獅子
第16回浜松いわた信用金庫 夢に追いかぜコンサー in 浜松 「ピアノとオーケストラが奏でる夏のワクワク音楽会」	アクトシティ浜松 中ホール	7/24	840	88.4%	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。 ソリスト：小川典子（ピアノ） 共催：浜松いわた信用金庫、(公財)浜松交響楽団
ざんねんないきもの事典 in アクトシティ浜松	アクトシティ浜松 展示イベント ホール	8/5～ 15	18,392	—	シリーズ累計販売数450万部『ざんねんないきもの事典』の世界を、生き物や巨大ぬいぐるみなどで体験。 共催：テレビ静岡、中日新聞東海本社、K-mix

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
Brand New Musical Concert 2022	アクトシティ浜松 大ホール	8/11	1,216	54.2%	中川晃教、加藤和樹ら、日本のミュージカル界を担うスターたちがオーケストラとともに心に残る名曲をお届け。 共催：静岡朝日テレビ
古澤巖×山本耕史 Dandyism Banquet	アクトシティ浜松 大ホール※	10/3	664	43.7%	ヴァイオリニスト・古澤巖と俳優・山本耕史によるシェイクスピア・近松門左衛門らの言葉と音楽で織りなすダンディズムなエンターテインメントステージ。
ミュージカル 「ミス・サイゴン」	アクトシティ浜松 大ホール	11/4～ 6	7,410	97.8%	日本での通算上演回数 1,463 回を重ねた大ヒットミュージカル。ベトナム戦争末期のサイゴンを舞台に、ベトナム人の少女キムと米兵クリスの二人の愛、別離、運命的な再会の物語。 共催：テレビ静岡
横坂源チェロ・リサイタル 2022	アクトシティ浜松 中ホール	11/23	625	62.0%	チェリストの登竜門として知られる全日本ビバホール・チェロコンクールでの最年少優勝(15歳)を初め、数々の国際コンクールで多数の受賞歴を持つ浜松在住国際的チェリストのリサイタル。
世襲戦隊カゾクマン	浜北文化センター 大ホール	11/25 ～27	738	35.1%	代々家業を継いできた家族がいる。一家を率いてきた父と母は世代交代を考えていた…「戦隊ヒーローお茶の間劇」3部作を3日連続で上演。 出演：山口良一、熊谷真実、芋洗坂係長ほか
ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会	アクトシティ浜松 大ホール	12/25	2,114	—	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお届け。 共催：K-mix
手寫葵 Symphonic Concert 2023	アクトシティ浜松 中ホール	2/23	661	68.3%	聴き手の心を揺さぶる類稀なる歌声で数々の主題歌や CM ソングを手掛ける手寫葵とオーケストラの共演。
小林研一郎(指揮) 仲道郁代(ピアノ) 読売日本交響楽団	アクトシティ浜松 中ホール	3/18	936	93.6%	「炎のマエストロ」小林研一郎率いる読売日本交響楽団と日本を代表するピアニスト仲道郁代の協演。
合 計		33事業★	48,080	68.8%	

※大ホール中規模利用

★中止事業は除く

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

① 事業総括

若年世代への情報発信の取り組みとして、文化事業や所管施設において SNS 等を積極的に活用して最新の情報を発信しました。

情報誌「HCF News」では、文化芸術事業や文化ホールの運営について、インタビューやギャラリートークなど現場に密着した情報の発信を行い、音楽のみならずアートをはじめとした多彩な活動に関する取り組みを紹介しました。

アクトシティ浜松友の会において、様々なジャンルのチケットを取り扱うとともにオンラインショップや電子チケットなど IT サービスの利用を促進しチケット購入等の利便性を高め、文化芸術をより気軽に親しむことができる環境の整備を図りました。

中間支援組織として、主催者とお客様をつなぎ市民の文化芸術活動を支援するため、チケット委託販売をはじめ、イベントカレンダーやwebによる広報協力等のサービスを展開しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・文化情報誌「HCF News」では、浜松の文化芸術に興味を持ってもらうため、アーティストへのインタビュー掲載や施設の行っている特長的な事業を発信しました。また、職員が記事を執筆することにより、職員自身の広報への意識向上につなげました。
- ・各事業や施設において SNS (Facebook、Twitter 等) を積極的に活用し、イベントの開催情報や館の取り組み、施設の季節ごとの風景などを積極的に配信し、財団の行っている活動を身近に感じていただける情報提供に努めました。
- ・アクト・ニューアーティスト・シリーズの様子を撮影し YouTube 配信することにより、動画と音楽で文化芸術の魅力を広めるとともに、更に SNS と連携することにより若年世代への発信に取り組みました。
- ・アクトシティ浜松友の会では、世代を超えた多くの会員に地元の演奏家の公演からポップスや演歌など多彩なジャンルの公演を鑑賞していただくため、他社主催のチケットを取り扱うとともに、会員限定コンサートを実施しサービスの向上に努めました。また、オンラインショップや電子チケットなど IT サービスの利用について、DM 等で会員対象に情報を提供し、利用の促進を図りました。

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(ア) 友の会会員数

() 内は前年度実績

内 訳		人 数 (人)	
全会員数 (令和5年3月31日現在)		4,842	(4,679)
内、令和4年度新規入会者	オンライン入会	445	(562)
	オンライン入会	350	(444)
	窓口入会	95	(118)

(イ) 友の会会員限定コンサートの開催

事業名	会場	開催日	応募状況(席)	入場者数(人)
イ・ヒョク ピアノ・リサイタル	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	12/15	応募 232 当選 115	120
パデレフスキ国際ピアノコンクール優勝者 マテウシュ・クシジヨフスキ ピアノ・リサイタル	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	3/22	応募 285 当選 200	165

イ 広報活動

活動名	内容
財団公式ホームページサイト管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNSによる情報発信	YouTube や SNS (Facebook、Twitter、Instagram) を活用した広報活動を展開。
情報誌「HCF News」の発行	財団事業、浜松市内で活動する文化団体、浜松市内の飲食店等についての記事を掲載。年4回発行（令和5年3月末時点で第48号まで発行）、発行部数11,000部。電子書籍による公開も行っている。
財団事業活動報告書及び活動紹介映像の制作	令和3年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作およびweb上で公開。
事業の広報	事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報を行う。
アクトシティ浜松イベントカレンダーの発行	発行部数10,000部、隔月発行。 市内主要文化施設、協働センター、ショップ等へ配布。

ウ HCF オンラインショップの運営

オンラインによるチケット販売（委託販売を含む）及び財団作成CD・DVD・書籍・記念商品等の販売

【取扱商品】

- ・市内文化団体自主イベント、市内外施設公演及び財団主催公演のチケット
- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・バンド維新等の財団主催事業の関連製品（CD、スコア集、パート譜）
- ・浜松市楽器博物館製作のCD・DVDコレクション
- ・浜松文芸館出版書籍

エ アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

- ・アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- ・財団のチケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び一般からの受託公演）
- ・アクトシティ友の会会員のチケット販売及び引換

【参照】

(ア) チケット及びグッズ取扱の実績

() 内は前年度実績

		注文件数 (件)	販売枚数 (枚)	販売金額 (円)	取扱公演数 (件)
一般販売	店頭	6,228 (4,472)	12,228 (8,569)	34,440,460 (28,890,010)	325 (249)
	オンライン	2,958 (2,435)	5,525 (4,542)	22,425,010 (19,241,200)	
	合計	9,186 (6,907)	17,753 (13,111)	56,865,470 (48,131,210)	
友の会販売	電話	3,103 (2,941)	4,717 (4,640)	27,701,360 (27,001,710)	124 (95)
	店頭	696 (350)	1,543 (608)	3,496,570 (2,547,120)	
	オンライン	4,590 (3,996)	7,962 (7,704)	49,268,020 (43,869,240)	
	合計	8,389 (7,287)	14,222 (12,952)	80,465,950 (73,418,070)	
総合計		17,575 (14,194)	31,975 (26,063)	137,331,420 (121,549,280)	
内キャンセル公演分		—	159 (1,672)	1,021,200 (8,092,000)	—

(イ) グッズ (書籍・CDなど) 販売

() 内は前年度実績

	注文件数 (件)	販売金額 (円)
グッズ販売 (店頭・オンライン)	34 (24)	196,325 (95,635)

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

① 事業総括

市民の日ごろの活動成果発表と市民文化団体間の交流を目的に開催している「浜松市民文化フェスティバル」と「浜松市芸術祭演劇部門」は、各団体と協力・連携を図りながら通常期に近い形に戻し実施しました。

また、市民の芸術鑑賞機会と地域の演奏家の演奏機会をマッチングする「演奏者派遣事業」では、市内の小学校や介護施設などで、市民企画のコンサートが計 25 回開催されました。

吹奏楽における先進都市として全国発信する「バンド維新」については、市内中高生が作曲家から直接指導を受け、新曲への取り組みや作曲家との交流を通じてさらなるレベルアップを図りました。

市民の自主的な文化活動への支援として、浜松アーツ&クリエイションでは、創造性あふれる取り組みに対し、浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務等を通じ伴走支援を行うとともに、市民の創造的な活動の実態調査や支援セミナーの開催に取り組みました。また、ホームページや SNS を活用して活動者の情報発信をするなど側面支援も行いました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・浜松市民文化フェスティバルは、吹奏楽、合唱、邦楽、洋舞、民踊、日本舞踊、詩吟琵琶、特別支援学校作品展、中学校総合文化祭、ジュニア部門など 12 部門を実施しました。特にジュニア部門は、小学校の取り組みから、ジュニア世代が所属する市民団体への企画に移行し、出演団体主導による運営により、団体間の交流と相互協力の促進を図りました。
- ・浜松アーツ&クリエイションでは、浜松市の創造都市推進事業補助金として 16 件を採択し伴走支援を行いました。また、市内の創造的活動の実態調査や活動に関する相談対応を行うとともに、調査で得た課題の解決に向けた事業を 5 回開催し、創造的な活動を促す土壌づくりに注力しました。さらに、市民活動を紹介するデータベースをより検索しやすくするなど利便性も高めました。
- ・市民の自主的な文化芸術活動を支援する「はままつ文化芸術活動助成事業」は、多くの方に活用いただくため、募集回数を年 1 回から 2 回に変更するなどリニューアルを実施し、採択した 24 事業に対し、助成金による財団独自の資金援助とともに、情報発信やチケット販売促進などの側面支援も行いました。
- ・昨年度に引き続き、静岡県との共催事業「富士山静岡交響楽団公演～0 歳から入れる親子クラシックコンサート」では、オーケストラの演奏に合わせてバレエ団がパフォーマンスを行う「ピーターと狼」を実施しました。オーケストラを身近に感じてもらうとともに舞台芸術の素晴らしさを提供する機会となりました。
- ・官民一体となって開催されたハママツ・ジャズ・ウィークは記念すべき 30 回を迎え、特別企画として、ジャズと落語のコラボ公演や高齢者施設での出前コンサートなどを行いました。最終日には、次世代を担う才能あふれた曾根麻央氏(Tp と Pf の二刀流)のほか、故・原信夫氏への感謝を込めて「原信夫とシャープス&フラッツ」のメンバー等が集結し聴衆を魅了しました。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催日	入場者数(人)	内容
第 52 回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/13～15	525	学校及び一般吹奏楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。 主催：日本バンドクリニック委員会 共催：(公財)浜松市文化振興財団、全日本小学校管楽器教育研究会、(株)ヤマハミュージックジャパン ・動画配信視聴者(有料)：101 人 ・優待券コンサート入場者：385 人 (3 日間合計)

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第68回浜松市芸術祭 演劇・人形劇部門				
人形劇ワークショップ	クリエート浜松	8/6	20	市内の演劇愛好者が企画・運営に参画し、市民劇団の舞台公演を中心にワークショップや招聘公演を開催。
演劇オムニバス公演	鴨江 アートセンター	10/15・ 16	72	
演劇ユニット FOX WORKS×劇団「Z・A」	浜北文化センター 小ホール	11/6	177	
演劇自主公演 劇団からっかぜ	クリエート浜松 ホール	11/13	275	
演劇自主公演 MUNA-POCKET COFFEEHOUSE	クリエート浜松 ホール	11/19・ 20	262	
演劇自主公演 シニア劇団浪漫座	なゆた浜北 ホール	11/27	183	
高校演劇選抜公演	Uホール	12/24・ 25	285	
浜松市民文化フェスティバル 2022				
「絵・写・書・茶・花」展※	クリエート浜松	8/19～21	-	市民文化団体による音楽・舞踊公演及び作品発表。多彩なジャンルの団体が日頃の研鑽の成果を発表。 (※クリエート浜松が主管)
第15回吹奏楽 トップコンサート	アクトシティ浜松 大ホール	9/19	1,600	
邦楽演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/24	600	
バレエ・ダンスの祭典	アクトシティ浜松 大ホール	10/16	1,200	
特別支援学校作品展	アクトシティ浜松 市民ロビー	10/29～30	-	
民謡と舞踊の集い	アクトシティ浜松 大ホール	10/29	500	
浜松おどり	アクトシティ浜松 大ホール	10/30	600	
浜松市民合唱祭 2022	アクトシティ浜松 中ホール	10/30	1,000	
浜松市中学校総合文化祭 ステージ部門	サーラ音楽ホール	11/19	800	
ジュニア部門	サーラ音楽ホール	11/20	560	
詩吟・琵琶演奏会	Uホール	11/20	300	
浜松市中学校総合文化祭 展示部門	クリエート浜松	12/6～11	-	

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第30回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/15～23	17,255	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催。感染症対策を万全にしたうえでの通常開催とし、一部イベントでは昨年度に引き続きライブ配信を実施。30周年特別企画として、ジャズと落語のコラボ公演、高齢者施設での出前コンサート、エレクトーンライブ等を実施。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
子ども音楽フェスティバル	浜北文化センター 大ホール	12/11	849	音楽院事業「子ども音楽セミナー」受講生の演奏発表の機会を提供。生涯学習音楽指導員との連携により、市内中学生・高校生と共演。
東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト 2022 in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	9/3・4	受講者 10	東京藝術大学と地域とが協働して取り組む逸材発掘プロジェクト。子どもの音楽的な可能性を引き伸ばす方策を探るとともに、子どもが相互に刺激し学び合う環境づくりを推進。
0歳から入れる クラシックコンサート —ピーターと狼—	浜北文化センター 大ホール	10/8	805	親子で楽しめるクラシックコンサート。 指揮：齋藤友香理 演奏：富士山静岡交響楽団 バレエ：バレエ団芸術座 共催：静岡県、静岡県文化財団
バンド維新 2023	アクトシティ浜松 中ホール	2/26	796	作曲家が新曲を制作しながら、市内の学生吹奏楽団に曲解指導と初演を実施する吹奏楽作曲事業。
サポーターマネジメント	—	通年	—	財団事業を支援するボランティアスタッフの募集・育成マネジメント。登録者数 28 名。活動実績なく事務局運営のみ。
演奏者派遣事業	市内小学校 商業施設 他	25 回	—	コンサートを主催したい施設・団体の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。
合計		27 事業	28,674	

イ 浜松アーツ&クリエイション事業

(ア) 浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務

事業名	実施内容	期間	件数 (件)	内 容
浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務	事前相談	4/1～30	39	浜松市創造都市推進事業補助金について、申請に関する相談を受け付け。
審査支援業務	一次審査 (書類審査)	5/9～17	32	応募件数：32件 一次審査通過：20件
	二次審査 (プレゼンテーション)	6/10～11	16	採択件数：16件（市民活動団体枠9件、アーティスト枠5件、企業枠2件）
採択者への伴走支援	各採択団体の支援	7～2月	-	各団体の活動準備状況確認、個別の相談に対応、マス・メディアへの情報提供、掲載依頼等。

(イ) 浜松市民の文化活動・創造的な活動の調査および支援

事業名	期間	件数 (件)	内 容
ヒアリング調査	通年	80	浜松市内で文化活動・市民活動をしている方を対象としたヒアリング。
調査研究	通年	23	チラシの配架場所を調査。
文化活動視察	通年	39	浜松市内外で行われている事業を視察。
一般の相談対応	通年	40	採択事業を問わず、広く市民からの文化創造活動の相談に対応。 (電話・メール・リモート・対面)
合 計	4事業	182	

(ウ) 浜松市民活動支援事業

事業名	会場	開催日	参加者数 (人)	内 容
文化芸術活動パワーアップ講座 ～活動を整理し、活動を伝えるために	鴨江 アートセンター	12/16	12	講師：若林朋子
文化芸術活動パワーアップ講座 ～資金問題解決法と、お金以外の答え	鴨江 アートセンター	1/28	9	講師：山田心
アーティストのための サバイバル講座～確定申告 A to Z	アクトシティ浜松 研修交流センター	2/20	10	講師：加藤 宏史
土地の力を引き出すデザイン ～創造の企みと課題の想像	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	3/12	9	相談員：山口洋典 (1/29より延期して実施)
情報発信支援事業 ～Hamamatsu Art Database～をつくる	-	-	-	ホームページ上で市内クリエイターの紹介ページを作成。
合 計		5事業	40	

(エ) 情報発信事業

事業名	内容
浜松アーツ&クリエイション ホームページ	浜松市創造都市推進事業補助金採択事業や浜松市内における文化芸術活動の担い手等を紹介。
浜松アーツ&クリエイション Facebook	SNS を活用した事業広報。補助金採択事業紹介、浜松アーツ&クリエイション活動紹介ほか。
浜松アーツ&クリエイション Instagram	
浜松アーツ&クリエイション Twitter	
News Letter の発行	Vol. 9～12 発行。各 4,000 部

ウ はままつ文化芸術活動助成事業

文化団体自らが企画運営する創造的な文化活動で、その成果が浜松の文化に還元される事業を支援助成する制度。

助成金額：上限 10 万円、下限なし。

採択回数：制限なし

採択事業（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月開催分）

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
すずめの学校合唱部 第 1 回定期コンサート	サーラ音楽ホール	すずめの学校 合唱部	4/17	「すずめの学校合唱部」の第 1 回目の演奏会。	100,000
浜松フラウエンコール 30 周年記念コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	浜松フラウエン コール	5/1	40 代～70 代の 34 名による女声合唱団の記念演奏会。ミサ曲や 30 周年を記念した委嘱作品を演奏。	100,000
第 3 回 浜松トランペット サークルフェスティバル	クリエート浜松 ホール	浜松トランペット サークル	5/7	一般参加者向けのトランペット基礎講座とコンサートの 2 部構成のイベント。	89,370
浜松能の会 「能の舞 能の響」	浜松市雄踏 文化センター	浜松能の会	5/8	能楽師と囃子方を招き、仕舞・舞囃子・舞台上での装束の着付け等について解説を交えながら紹介。	97,904
対話から空間を創作する プロジェクト	鴨江 アートセンター	対話空間創造社	5/17～ 22	静岡文化芸術大学の学生による、金属・染色・木工・陶芸・平面作品・衣裳の展覧会。展示作品の衣裳を身に付けたパフォーマンスも実施。	100,000

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
金管塾 in 浜松	サーラ音楽ホール 多目的室	浜松ユーフォニアム・チューバフェスティバル実行委員会	5/21	基礎奏法の講座、参加者の発表会、ソロコンクールの受賞者による記念コンサートの3部構成のイベント。	100,000
2022 浜松ジャズデイ	浜松市 ギャラリーモール ソラモ	浜松ジャズ協会	5/29	浜松地域で活躍している代表的なバンド11グループによる演奏と解説を行う無料のジャズコンサート。	100,000
“市民との絆をつくる” 第18回浜松美術協会展	クリエート浜松 ギャラリー	浜松美術協会	6/28～ 7/10	会員による作品(油彩、水彩、版画、彫刻など)を展示するほか、一般公募作品の展示、画材展示、似顔絵の実演などを実施。	100,000
第50回記念 静岡県油彩美術家協会 西部地区作品展	クリエート浜松 ギャラリー	静岡県油彩美術家協会西部地区会	9/19	西部地区の会員による油彩画の作品展。	100,000
いいねえ、お江戸 第四弾 ～日本の伝統音楽を 伝える今～	クリエート浜松 ホール	Hamamatsu Traditional Music Society	9/19	歌舞伎音楽の長唄と義太夫の演奏と解説を行う演奏会。	100,000
第4回 浜松東 ライオンズ マジッククラブ発表会	福祉交流 センター	浜松東ライオンズ マジッククラブ	9/25	会員25名によるマジックの発表会。1人当たりおおよそ3分～6分程度の演目を披露。	100,000
音遊びコンサート vol.9 vol.10	クリエート浜松 創造活動室	音遊びコンサート 実行委員会	10/28 2/28	0歳から未就園児までを対象に絞ったコンサート。	100,000
第55回 遠江能楽の会 発表会	クリエート浜松 ホール	遠江能楽の会	10/23	遠州地方の8チームによる、能楽の謡・仕舞・お囃子の発表会。	80,000
第5回 浜松 Open Art	ゆりの木通り 商店街 肴町商店街ほか	浜松 Open Art	10/29～ 11/6	街中をギャラリーに見立て作品展示や販売、ワークショップなど、様々なアートイベントを実施。	100,000
カールヤイトラー指揮 第三回ウィーン 音楽コンサート 及び 合奏指導会	アクトシティ浜松 中ホール	浜松ウィーン音楽 愛好会	11/11～ 13	ヤイトラーフィルハーモニー管弦楽団、浜松トランペットコア、浜松オペラ合唱団による演奏会。	100,000
オータムコンサート in 天竜	天竜壬生ホール	オータムコンサート in 天竜実行委員会	11/23	オペラのアリアや器楽曲などを弦楽四重奏で演奏。	100,000
天竜区民交流事業 「こうみょう友 Live 9th」	光明ふれあい センター	天竜区民文化交流 実行委員会	12/11	天竜地区の9団体による演奏等の発表会。	100,000
第30回 劇団たんぼぼ クリスマス公演	浜松市福祉交流 センター	公益社団法人 教育演劇研究協会	12/24	劇団たんぼぼによる児童青少年向けの演劇公演。	58,433

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
浜松出身 現役音大生による フレッシュコンサート Vol. 1	クリエート浜松 ホール	浜松フレッシュ コンサート 実行委員会	12/27	浜松出身の現役音大生によるコンサート。	100,000
天竜四季の音コンサート 2023	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	天竜四季の森	1/22	天竜地域の活性化を目的とした団体によるコンサート。天竜の四季の風景を描いた曲などを演奏。	100,000
ソナスアンサンブル 演奏会	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	ソナスアンサンブル	2/23	15人編成の弦楽オーケストラによるクラシック曲の演奏会。	93,485
天竜地区芸能連盟大会	天竜壬生ホール	天竜地区芸能連盟	3/12	天竜地区で活動する複数の芸能団体による発表会。	100,000
三遠南信文化交流事業 「南信州今田人形 浄瑠璃公演」	クリエート浜松 ホール	特定非営利活動法人 みらいネット浜松	3/21	長野県選択無形民俗文化財に指定される今田人形芝居の保存会を招き、実演を鑑賞。	100,000
美術製作プロジェクト 「天地あまつち耕作」の デジタルアーカイブ作成 と発表	web 上にて公開	天地耕作事務局	4/1～ 3/29	巨大なオブジェなどを制作する美術プロジェクトのアナログ記録をデジタル化し、新しく立ち上げたサイトに公開。	100,000
合 計			24 事業		2,319,192

エ 浜松市内文化団体・文化協会

(ア) 浜松市浜松文化協会

合併前の旧浜松市で活動する主要な文化団体代表者によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行う。

第1回 令和4年7月11日 アクトシティ浜松

第2回 令和5年2月6日 浜松市福祉交流センター

(イ) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会代表者によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに、支援を行う。

第1回 令和4年8月8日 天竜壬生ホール

第2回 令和5年1月23日 浜北文化センター

(ウ) 浜松市内文化協会助成金

浜松市内文化協会連絡会に加盟する文化協会（10 団体）が実施する文化活動に対し、最大 15 万円を助成する制度。

採択事業（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月開催分）

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
松井彩乃&浜松フラウエンコー ールジョイントコンサート	引佐多目的 研修センター	引佐 文化協会	8/20	引佐町出身の松井さんを招 いてのコンサートを実施。	150,000
創立 65 周年記念音楽鑑賞会	浜北文化センター	浜北 文化協会	10/14	文化協会創立 65 周年を記念 し地元出身の演奏家を招い てコンサートを実施。	150,000
第 60 回浜松市細江文化祭 芸能発表会	みをつくし文化 センター	細江 文化協会	11/3	文化協会員による写真・絵手 紙・書道・絵画等を展示。	150,000
会報「いのはな」発行	—	三ヶ日 文化協会	—	三ヶ日文化祭を中心に文化 協会の活動実績を掲載。	150,000
合 計			4 事業		600,000

オ インターンシップ実習受入

市内や静岡県内外の大学生を中心に受入。所管施設での受入は各所管施設にて報告。

期間：令和 4 年 8 月 9 日～10 月 3 日

文化事業課受入人数：16 人（4 大学）

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

① 事業総括

次代を担う人材の育成やまちなかコンサート、浜松国際ピアノコンクール審査委員長や入賞者によるコンサートなど、音楽の都・浜松を具現化する取り組みを浜松市とともに推進しました。

ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、アクトシティ音楽院の人材育成事業は、適切な感染防止対策を実施しながら、コロナ前の通常に近い形で開催することができました。

また、浜松市内の小学5年生全員を対象としたこども音楽鑑賞教室は3年ぶりに開催、浜松吹奏楽大会も無観客または配信による事業形態が続いていましたが、コロナ前とほぼ同様の内容で開催できました。まちなかコンサートについても観客数の制限緩和により、にぎわいもどってきました。音楽文化都市交流事業は、札幌市、宝塚市ともに現地での交流を実現しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・ジュニアオーケストラ浜松とジュニアクワイア浜松は、適切な感染症対策を実施しながら、コロナ前の活動へ少しずつ軌道修正を図りました。9月の定期演奏会では、令和3年度は関係者のみでしたが、令和4年度は一般入場を可能とし、3月のスプリングコンサートは4年ぶりにオーケストラとクワイアの合同で開催することができました。
- ・アクトシティ音楽院では、世界に羽ばたく音楽家の育成を目的に浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルや浜松国際ピアノアカデミーを開催するとともに、子どもたちが音楽を楽しむきっかけづくりとして子ども音楽セミナー（邦楽・吹奏楽・洋楽）、プロのジャズプレーヤーが中学や高校に向いて指導するジャズクリニック、市民対象の主催者育成セミナー、指導者を学校や団体に派遣する音楽指導者派遣、音楽院の修了生が小学校でコンサートを行う音楽院修了生公演など様々な事業を展開しました。
- ・こども音楽鑑賞教室はコロナの影響で中止が続いていましたが、3年ぶりに開催することができました。良質な音楽に触れることで豊かな感性を育むために地元出身声楽家による浜松市歌の演奏や、オーケストラの演奏に合わせた手拍子によるリズム体験など多彩なプログラムにより児童のコンサートやオーケストラへの興味を促しました。また、鑑賞マナーの習得も図りました。
- ・浜松吹奏楽大会は、4年ぶりに有観客で開催し、出演校の交流はホール内の舞台を使用して学校紹介や地元になんだクイズ大会など飲食を伴わない内容とし、感染症防止対策に配慮したかたちで取り組みました。
- ・浜松国際ピアノコンクール関連事業として、これまでの優勝者による富士山静岡交響楽団との共演や審査委員長小川典子氏と地元で活動する浜松交響楽団との共演、「浜コン入賞者が贈る2台ピアノの世界」と題した優勝者・入賞者・出場者によるリサイタルなどコンクール関係者によるオリジナル企画を実施しました。

ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催日	入場者数(人)	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	5/20 7/22 9/2 2/10	110 155 155 165	アクトシティのパイプオルガンと中ホールを多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
オルガンのパイプを作ってみよう！	アクトシティ浜松 コンGRESSセンター 43会議室 中ホール	8/11	29	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
福祉交流センター				
第172回定期演奏会	福祉交流センター	10/26	120	福祉交流センターのパイプオルガンを多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
クリスマスコンサート	福祉交流センター	12/8	187	
第173回定期演奏会	福祉交流センター	3/8	69	
合 計		3事業	990	

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催回数	入場者数 (人)	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅 北口広場 「ギター」他	18回	9,200	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する無料イベント。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。(4月～11月の24回予定のうち雨天による中止6回) 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	1回	500	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわい コンサート	JR 浜松駅 北口広場 「ギター」他	3回	1,100	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する無料イベント。(5月～11月の5回予定のうち雨天による中止2回)
合 計		3事業	10,800	

ウ ジュニアオーケストラ浜松 (JO)・ジュニアクワイア浜松 (JC) 運営事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
団員募集・定期練習	市内諸施設	通年 (週1回)	団員数 JO:90 JC:56	団員の募集・育成・公演をマネジメント。 音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的 視野を持った青少年の育成。コロナ感染対 策として、日々の健康観察、手指消毒に加 え、少人数・時間短縮をしたうえでパート 練習を実施。 スプリングコンサートは4年ぶりにオーケ ストラ・クワイア合同で開催。
ジュニアオーケストラ浜松 第28回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/4	713	
ジュニアクワイア浜松 第28回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/11	488	
スプリングコンサート2023	アクトシティ浜松 大ホール	3/12	1,200	
その他の演奏事業	ソラモ	8/15	-	プラタナスコンサート(JC) 主催：浜松市、静岡新聞社・静岡放送 参加団員(高校生)20人、欠席3人 指揮：片山みゆき、伴奏：谷野はるか、 ERIKO
	りゅーとぴあ	8/19～ 21	-	ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2022in 新潟(JO)が開催されたが、浜松はコ ロナ感染拡大に伴い、参加辞退とした。
	ベガホール	11/6	-	音楽文化都市交流事業(宝塚市)(JC) 参加団員33人、指揮：片山みゆき
	はままつ フラワーパーク	12/4 12/18	-	フラワーパーククリスマスコンサート (JOJC)
	浜松科学館	12/10	-	MATH やらまいか決勝大会(JO)
	オークラアクト シティホテル浜松	12/24	-	オークラアクトシティホテル浜松ロビー コンサート(JOJC) 指揮：片山みゆき、伴奏：谷野はるか
	楽器博物館 天空ホール	3/19	-	シリーズ音楽の広場(JO)
合計		5事業	2,547	

エ 浜松吹奏楽大会 2023 事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
地域交流プログラム	市内中学校	3/25・26	769	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。プロムナードコンサートについては雨天のため中止。
第11回全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/25	1,280	
第35回全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール	3/26	2,271	
合計		3事業	4,320	

オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催日	派遣者数 (人)	内容
宝塚市との音楽文化都市交流事業	ベガ・ホール	11/6	団員 34 引率 8	ジュニアクワイア浜松が宝塚少年少女合唱団と交流し、「宝塚市民合唱祭」へ出演。
札幌市との音楽文化都市交流事業	札幌市立伏見中学校 札幌コンサート ホール Kitara	11/11～13	団員 39 引率 12	浜松市中学校合同合唱団が札幌市立伏見中学校と交流し、「さっぽろスクール音楽祭」へ出演。
合計		2事業	93	

カ こどものための音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第22回 こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/15・16	7,141	市内の小学5年生全員を対象に、オーケストラの鑑賞機会を提供。3年ぶりの開催。 指揮：永峰大輔 演奏：富士山静岡交響楽団 観覧対象者：浜松市内小学5年生(児童7,023人、引率320人)

キ 浜松市アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催日	受講者数等(人)	内容
アカデミーコース 世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業 (3事業)				
音楽院修了生公演事業	市内小中学校 ほか	10回	782	アクトシティ音楽院修了生に、音楽活動の場を提供する公演企画。市内学校や非営利団体等の依頼により実施。
第28回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル	アクトシティ浜松	8/2~7	1,288	国内外で活躍する演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサート。
浜松国際ピアノアカデミー2023	研修交流センター	1/29~ 2/5	1,283	世界的なプロピアニストを育成するとともに、浜松市民がピアノの可能性を楽しみ、感じ、学ぶ機会を提供。 音楽監督：小川典子 講師：石井克典、中野翔太 マスタークラス受講生：16人 大人のためのワンポイントレッスン受講生：14人(1人辞退)
コミュニティコース 市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業 (9事業)				
ジャズクリニック	各受講校・ 市民音楽ホール	9~12月	430	守屋純子氏と守屋純子セクステットメンバーを講師に迎え、市内の学校の練習会場に赴いてジャズの指導を全3回・4校にて実施。
吹奏楽セミナー				
吹奏楽公開講座 「保科洋の吹奏楽 楽曲分析・解釈講座」	アクトシティ浜松 中ホール リハーサル室	4/10	37	保科洋音楽監督を講師に、フィルハーモニックウインズ浜松をモデルバンドとして、吹奏楽コンクール課題曲を題材とした指導者向けの講習会を開催。
楽器パート別講座 (小学校)	市民音楽ホール	4/30 7/23 8/7	26 23 23	浜松ジュニアプラスをモデルバンドとして、初心者向けのパート別講習を開催。
合奏講座(小学校)	市民音楽ホール	5/14 1/21	24 24	浜松ジュニアプラスをモデルバンドとして、基礎合奏を学ぶ講習を開催。
アンサンブル 研究講座	あいホール	9/3	32	市内で吹奏楽譜及びアンサンブル楽譜を手掛ける作編曲家の渡部哲哉氏を招き、吹奏楽指導者向けのアンサンブル指導講座を開催。 演奏：フィルハーモニックウインズ浜松
浜松市所有ジャズ譜貸出事業	—	通年	8件	ジャズ用、吹奏楽用等に編曲した楽譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出し。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」 音源・楽譜貸出事業	—	通年	—	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜をアマチュア音楽団体へ無料貸し出し。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	12回	受講者 9 入場者 157	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。全12回のセミナーにより実践的なノウハウを学習し、最終的に自主企画コンサート「チェロから始まる西方正輝の世界」を開催。

事業名	会場	開催日	受講者数等(人)	内容
合唱セミナー				
第89回NHK 全国学校音楽 コンクール 課題曲講習会	クリエート浜松 ホール	6/25	62	市内の中学校及び高等学校をモデル合唱団として、NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲を題材に、合唱指導者向けの講習会を実施。 受講：北浜中、都田中、浜松市立高校 聴講者数：63人
合唱セミナー	サーラ音楽ホール	10/29	40	【ホール練習会】 市内学校における合唱振興及び指導者の技術向上のため、浜松市・札幌市音楽文化都市交流事業に参加する中学校合唱団をモデル合唱団として、実践的な合唱指導講座を実施。 受講：北浜・都田・細江・与進中 講師：伊熊句子
合唱セミナー	アクトシティ浜松 大ホール リハーサル室	1/7	138	市内愛好者を対象にした実践的レッスンと、市内学校や一般団体を対象としたワンポイントレッスンを開催。 講師：清水敬一 協力：浜松市合唱連盟
子ども音楽セミナー	浜松市立高校 クリエート浜松 他	11～12月	受講者 155	生涯学習音楽指導員が子どもたちに音楽指導をする講座。邦楽・吹奏楽(小・中学生)・洋楽教室の3クラスで各3回実施。
バークリー音楽大学事業	浜松修学舎 中学校・高等学校 音楽ホール	3/23・24	36	音楽活動を通じた人材育成を目的とし、国際感覚の熟成や音楽に対するより深い理解と演奏技術の向上を図るため、バークリー音楽大学出身講師による高校生へのジャズクリニックを開催。 講師：曾根麻央 (Tp、Pf)、鈴木宏紀(ds)、宮地遼(b) モデルバンド： 浜松修学舎高等学校 吹奏楽部
音楽指導者派遣事業	市内 希望学校・団体	通年	受講者 31,144 (派遣件数 313件)	音楽院の音楽指導者登録者を市内の音楽活動団体へ派遣。
合計		12事業	35,713	

ク 浜松国際ピアノコンクール開催事業

(ア) 実行委員会・運営委員会の開催

第1回実行委員会・運営委員会（合同開催）

開催日：令和4年10月3日

場 所：アクトシティ浜松コングレスセンター52～54 会議室

議 題：委員の委嘱、第12回コンクール開催概要、令和4年度事業計画及び収支予算案 等

(イ) 専門委員会

開催日：令和4年11月3日

場 所：オンラインにて開催

議 題：第12回コンクール課題曲、審査委員の選定

(ウ) 第12回コンクール開催準備業務

- ・募集要項案の策定
- ・公式デザイン、ウェブサイトの制作

(エ) 関連事業の開催

事業名	開催日	会 場	入場者数 (人)
富士山静岡交響楽団第111回定期演奏会 指揮：広上淳一 ピアノ：アレクサンダー・ガジェヴ	6/25 6/26	静岡市清水文化会館 大ホール アクトシティ浜松 中ホール	865 (浜松公演のみ)
第16回 浜松いわた信用金庫 夢に追いかぜコンサート in 浜松 指揮：松本宗利音 ピアノ：小川典子 管弦楽：浜松交響楽団	7/24	アクトシティ浜松 中ホール	840
《アクトシティ浜松友の会会員限定コンサート》 イ・ヒョク ピアノ・リサイタル	12/15	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	120
浜コン入賞者が贈る2台ピアノの世界 出演：ジャン・チャクムル、イ・ヒョク、 今田篤、梅田智也	12/18	アクトシティ浜松 中ホール	895
《アクト・プレミアム・シリーズ》 アレクサンダー・ガヴリリョク（ピアノ）	2/16	アクトシティ浜松 中ホール	479
《アクトシティ浜松友の会会員限定コンサート》 パデレフスキ国際ピアノコンクール優勝者 マテウシュ・クシジヨフスキ ピアノ・リサイタル	3/22	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	165
合 計		6事業	3,364

(オ) 国際音楽コンクール世界連盟との連絡調整

国際音楽コンクール世界連盟 理事会

開催日・開催地：随時・オンラインにて実施

出席者：小川典子審査委員長

(カ) アーリンク・アルゲリッチ財団との連絡調整

アーリンク・アルゲリッチ財団総会

開催日：令和4年9月20日～21日

開催地：ユトレヒト市（オランダ）

出席者：小川典子審査委員長

2 芸術文化活動の促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

(1) アクトシティ浜松

① 運営総括

令和4年度は、年度の後半になると感染拡大防止策を図りながら開催する利用者が増えました。コロナの影響で開催に慎重だった説明会や研修会での利用や、大人数を集める興行での利用が増え、施設の稼働が戻ってきました。

また、コンベンションも、現地開催やハイブリッド開催など参加者を伴うかたちでの開催により、参加者数も着実に増加しており明るい兆しが見えてきています。

一方で、コロナ前は現地開催が当たり前であったコンベンションは、半数以上がハイブリッド（現地＋オンライン配信）での開催となり、講演者とスタッフのみの配信会場としての利用が増加するなど、コロナ禍を経て開催形態が明らかに変化してきました。こうしたことから、ネット環境をはじめ施設や設備の活用を支援し、開催形態の変化による要望に柔軟に対応することで、更なる利用につながるよう努めました。

アクトシティ浜松の活性化事業は、民間商業施設と連携を図りながら一体となって運営することで、複合施設ならではの賑わいを創出するイベントを企画・実施しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・コンベンションの主流となりつつあるハイブリッド開催に対応するため、ハイブリッド開催の経験豊富な専任の担当者を配置し、学会事務局への丁寧なサポートを通して、利用者に満足いただける運営に努めました。
- ・WEB予約においては、24時間対応可能なキャンセル機能やリアルタイムで空き状況を表示する機能を追加し、利用者の利便性の向上を図りました。
- ・サポートサービスでは、特に利用の多い弁当やドリンクメニューにおいて、飲み物1本から弁当の内容に至るまで、利用者の要望にきめ細かく対応しました。また、配信機材を利用者自身が持ち込むケースが増えてきているため、様々な機材に対応できるようケーブル類の種類や長さのバリエーションを増やすなど、ニーズにあったメニューの開発に努めました。
- ・展示イベントホールおよび研修交流センターのインターネット回線の強化を図り、よりスムーズにWEBでの配信や会議を行える環境を整えました。ホームページ等を活用して広く利用者に発信するとともに、コンベンション誘致活動においても積極的なPRに努めました。
- ・商業施設やホテルとの連携により、ホールやホテルの裏側を探検する「アクトシティ大冒険！」を3年ぶりに開催しました。また、浜松市出身の若手アーティストを応援すべく、クリスマス装飾を兼ねたアート展示を行うなど、アクトシティに関心を持ってもらう取り組みを行いました。

ア アクトシティ活性化事業

事業名	会場	開催日	参加者数(人)	内容
アクトシティでやらまいか 浜松まつり	サンクン プラザ	5/3～5 中止	—	浜松まつり期間中サンクンプラザにて、吹奏楽やダンスのライブパフォーマンス等を予定していたが、コロナ感染拡大防止のため開催中止。
アクトシティ大冒険！	大ホール他	8/12	78	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側および制振装置など、普段見られないところを大冒険するバックステージツアー。今回はコースを2つ設定することで、より多くの方が参加できるよう調整を行った。

事業名	会場	開催日	参加者数 (人)	内容
akira muracco exhibition 「as my girl, on lace」展	アクトシティ浜松 市民ロビー他	11/22～ 12/25	45,161	クリスマスの機運を盛り上げ、来館者の回遊を図るため、浜松ゆかりの若手アーティストに依頼し、市民ロビーやアクトタワーなどにアートを活用した装飾を実施。
合計		2事業★	45,239	

★中止事業は除く

イ コンベンション等実施状況

(県単位以上の大会・コンベンション等を記載 現地開催は参加者数300名以上 財団事業除く)

利用日	大会名称 ※1	利用施設	参加者数 (人) ※2
4/1～30	浜松市新型コロナワクチン集団接種会場 (1回目)	展示イベントホール	8,288
5/26～28	日本心血管インターベンション治療学会 第46回東海北陸地方会 *	コンgresセンター	404
6/10～12	第8回日本医療安全学会学術総会	コンgresセンター	1,306
6/16～18	第65回関西胸部外科学会学術集会	コンgresセンター	1,460
6/24～26	第25回静岡県理学療法士学会 **	コンgresセンター	280
7/2～3	第35回静岡県作業療法学会 *	コンgresセンター	350
7/9～10	日本医学放射線学会第171回中部地方会 日本核医学会第94回中部地方会 第70回中部地方会 第70回中部 IVR 研究会 *	コンgresセンター	170
7/24～29	第15回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2022	展示イベントホール、 研修交流センター	3,035
8/5～7	第63回静岡県吹奏楽コンクール高等学校の部 *	大ホール、中ホール	6,700
8/18～20	第55回カワイピアノコンクール全国大会 *	中ホール	470
8/26～28	第77回東海吹奏楽コンクール中学校A編成の部/ 高等学校A編成の部 *	大ホール、中ホール	5,020
9/3～4	日本デイケア学会 第27回年次大会 静岡大会**	コンgresセンター	125
9/25～27	令和4年度第25回静岡県健康表現体操 フェスティバル	中ホール	1,150
9/30～10/2	第63回全日本病院学会 in 静岡	大ホール、中ホール、 展示イベントホール、 コンgresセンター	5,100
10/8～9	日本内科学会第248回東海地方会 *	コンgresセンター	356
10/13～2/26	浜松市新型コロナワクチン集団接種会場 (2回目)	展示イベントホール	73,244
10/26～28	第11回日本精神科医学会学術大会 *	大ホール、 コンgresセンター、 研修交流センター	1,380

利用日	大会名称 ※1	利用施設	参加者数(人) ※2
10/30～11/3	ISO/TC 184/SC 4 国際会議 *	コンgresセンター	179
11/4～6	第137回日本消化器病学会東海支部例会 第126回市民公開講座	コンgresセンター	420
11/10～12	第32回日本乳癌検診学会学術総会 *	大ホール、中ホール、 コンgresセンター	1,200
11/17～20	第36回日本エイズ学会学術集会・総会 *	大ホール、中ホール、 コンgresセンター	2,050
11/25～27	第126回日本産科麻酔学会学術総会 *	コンgresセンター	1,201
11/30～12/2	第49回日本マイクロサージャリー学会学術集会	中ホール、 コンgresセンター	1,260
1/26～27	第62回静岡県保育研究大会	中ホール、 コンgresセンター	1,270
2/1～3	第33回日本疫学会学術総会 *	中ホール、 コンgresセンター	2,430
2/6～3/16	令和3年分確定申告相談会場 令和4年度市民税・県民税申告相談会場	展示イベントホール	15,294
2/10～11	第11回産科麻酔に参加しよう *	コンgresセンター	100
3/18～19	第46回全日本アンサンブルコンテスト *	大ホール、 コンgresセンター	1,800
合 計		28 件	136,042

※1 開催形式

*印 現地開催とWEB配信のハイブリッド

**印 WEB配信のみ

※2 参加者数はアクトシティ来館参加者のみカウント

ウ 施設稼働率等

(ア) ホール及び会議室

() 内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
大ホール		78.5% (64.0%)	303 (311)	238 (199)	212,187 (125,249)
中ホール		69.7% (47.8%)	310 (316)	216 (151)	83,288 (38,005)
展示イベントホール		74.3% (70.0%)	331 (343)	246 (240)	168,936 (111,872)
コンgresセンター 会議室 (13室)		65.3% (47.4%)	4,451 (4,468)	2,906 (2,119)	65,182 (42,590)
研修交流 センター	音楽工房ホール	58.0% (44.2%)	331 (330)	192 (146)	16,237 (11,551)
	音楽セミナー室 (13室)	57.1% (47.3%)	4,401 (4,461)	2,515 (2,110)	8,408 (7,359)
	会議室 (10室)	71.8% (58.2%)	3,414 (3,447)	2,450 (2,007)	46,635 (37,841)
合 計					600,873 (374,467)

(イ) 駐車場

() 内は前年度実績

	駐車台数 (台)	1日あたり駐車台数 (台)
駐車場	314,425 (304,603)	861 (834)

エ 利用料金収入

収入区分		当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設 利用	大ホール	163,406,942	128,722,896	34,684,046
	中ホール	68,777,578	49,395,850	19,381,728
	展示イベントホール	118,981,289	112,597,808	6,383,481
	コンgresセンター	149,049,690	107,693,437	41,356,253
	研修交流センター	63,836,285	49,847,852	13,988,433
	地下駐車場	114,208,742	103,312,894	10,895,848
	屋外施設 (サンクンほか)	84,860	114,680	△29,820
合 計		678,345,386	551,685,417	126,659,969

(2) クリエイト浜松

① 運営総括

クリエート浜松は、ホールやギャラリー、アトリエなど多様な機能を有する施設として、市民が文化芸術活動を通して集い交流する機会を提供しています。館内には浜松国際交流協会や中部協働センター、浜松市人権啓発センター、放送大学サテライトキャンパスが入居しており、さまざまな目的で来館される多様な利用者が集う場ともなっています。

令和4年度は、コロナ禍で実施することができなかった「浜松市民文化フェスティバル展示部門」を、美術系市民文化団体間の相互交流や市民との交流を再開するために、3年ぶりに開催しました。

また、市民団体の日頃の活動や新しい取り組みを応援するために「クリエイティブ・ガラ」や「クリハマ楽校」を実施するとともに、団体活動の活性化や会員減少への支援として「文化情報発信」事業に取り組み、活動内容の紹介を積極的に行いました。

さらに、浜松国際交流協会や中部協働センターなどと連携し、多文化共生や生涯学習、人権啓発などの社会課題に協働して取り組みました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・3年ぶりの開催となった「浜松市民文化フェスティバル展示部門」は、市内の美術団体による様々なジャンルの作品が一堂に会する多彩な展覧会となりました。「アートコミュニケーション」では各団体の代表者が作品の見方や楽しみ方を解説し、市民と団体との交流の場となりました。
- ・「クリエイティブ・ガラ」では、1階ふれあい広場をクリエイティブな活動を行う場として無料開放し、「クリハマ楽校」では参加者が主体となって取り組む活動を伴走支援しました。両事業を通じて市民による文化活動の活性化に取り組みました。
- ・夏まつりでは人権啓発センターと協働して「ハートフルヒューマンストーリー」を開催し、人形劇を通じて人権啓発を行いました。浜松国際交流協会との共催で行う「はままつグローバルフェア」は、共生社会の実現や多様な文化の豊かさの発見をテーマに3年ぶりに開催しました。
- ・「文化情報発信」事業では、既存団体の存続や活性化の支援並びに新規利用団体の獲得のため、職員が団体の活動内容や練習の様子などを取材、映像の作成によりホームページやSNSなどで発信しました。
- ・「浜松市 SDGs 未来都市計画」に沿った事業展開と施設運営を目指すため浜松国際交流協会と連携してチームを発足し、節電やプラスチック削減に取り組みました。また、利用者アンケートをもとに施設使用料のキャッシュレス対応やギャラリーBGM用のCD貸出しなど、新たな利用者サービスを行いました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
自主事業 (4事業)			
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	49回	285	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
クリハマ楽校	18回	64	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出。
夏休み親子工作教室	7/31	13	アトリエを使用して、親子を対象にした工作教室。
浜松市民文化フェスティバル2022 展示部門「絵・写・書・茶・花」展	8/19~21	1,087	3階のギャラリーにおいて地元の文化団体が市民文化フェスティバルとして絵画、写真、書道、お茶、生け花など多彩な文化を披露。

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
共催事業 (5事業)			
第25回リフレッシュ理科教室	6/25	60	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作。 共催：(公財)応用物理学会
クリエートの夏まつり	8/21	1,498	主に地元住民を対象とした物販や文化イベント。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、 (公財)浜松国際交流協会
クリエートの冬まつり	1/21・22	5,200	地域住民や関係機関と連携。地域及び施設の活性化 を目的とした文化イベントや物販などを実施。 共催：市中部協働センター
第13回はままつグローバルフェア	2/12	5,000	フェアトレードショップや国際交流ブースを設け たイベント。着物などの日本文化にも触れられる場 も創出。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国 際交流協会
Collabo with! クリエイト (コラボ・ウィズ)	随時	—	文化団体等から企画提案された浜松の文化振興に 寄与する事業を共催者として支援。
その他の事業・機能 (3事業)			
活動情報の収集・データベース化事業	通年	—	市民アーティストの活動をデータベース化し、活 動者同士の連携を構築。
文化情報発信事業	通年	—	当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信 を実施。
インターンシップ実習受入	8/20・21	3	市内や静岡県内外の大学生を中心に受入。
合計	12事業	13,210	

イ 施設稼働率等

()内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
中部協働センター	講座室 (2室)	70.9% (56.6%)	707 (712)	501 (403)	12,082 (6,802)
	クッキング ルーム	44.5% (37.9%)	335 (356)	149 (135)	2,524 (2,157)
	会議室 (3室)	78.5% (72.6%)	1,058 (1,077)	830 (782)	14,520 (13,002)
	和室 (2室)	49.9% (42.6%)	704 (712)	351 (303)	5,131 (4,246)
文化コミュニティ センター	ホール	76.8% (69.2%)	341 (341)	262 (236)	43,865 (27,654)
	会議室 (2室)	63.2% (48.0%)	706 (711)	446 (341)	7,072 (5,453)
	スタジオ	89.5% (88.5%)	353 (356)	316 (315)	8,675 (7,330)
	ふれあい広場	97.0% (85.4%)	337 (356)	327 (304)	19,834 (14,488)
	アトリエ	71.7% (66.3%)	353 (356)	253 (236)	3,738 (3,501)
	ギャラリー (5室)	78.0% (75.0%)	1,756 (1,789)	1,369 (1,342)	150,396 (136,038)
	創造活動室	99.7% (98.3%)	353 (356)	352 (350)	11,958 (10,221)
合 計					279,795 (230,892)

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	51,788,440	43,248,930	8,539,510

(3) 浜松市浜北文化センター

① 運営総括

浜北文化センターは、本市においてアクトシティ浜松に次ぐ収容人数であり、市北部の文化振興の拠点として利用されています。この地域では当ホールを中心に市民による文化活動が活発に行われているほか、近年の宅地開発による若い世代の増加や、中心部からの鉄道利用による利便性の良さ、演劇などの舞台公演に適した設備であることから、そうした特長を生かした事業を展開しました。

コロナ禍で中止が続いていた「はまきたまるごと文化フェス」は、3年ぶりの開催となり、地域の文化団体がホールで様々なパフォーマンスを繰り広げ、館内では絵画や書などの作品が展示され、参加者の交流とともに来場者に地域の文化活動を紹介することができました。加えて今回は、なゆた・浜北との共同開催により、両施設の認知度を高め合うこともできました。

そのほか、ファミリー層を対象とした幼児も入場可能なコンサートや、高校演劇部を対象とした舞台知識を得る講座などを開催しました。

また、利用者が知りたい情報を得やすくするために、ホームページのリニューアルおよびスマホサイトの新設を行いました。さらに、市が令和6年度に予定する大規模改修工事に関して、施設運営者の視点から積極的に提案するとともに、利用者に対して休館時の代替施設の情報も提供しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「はまきたまるごと文化フェス」では、浜北文化センターとなゆた・浜北の2施設を会場に、地域の産品を販売するマルシェも行いました。各団体による開催に向けての準備や当日の発表を通して、参加者同士や来場者と参加者の交流が図られました。
- ・子育て世代のニーズを反映し、ファミリーと一緒に楽しめる「ゆるやかコンサート」を開催し、音楽を親子で楽しむ機会としました。お父さんも参加しやすい土曜日には特別編としてジャズライブを開催し、家族での思い出づくりの場となりました。
- ・小ホールにて舞台スタッフが講師となり、高校生に舞台知識を深めてもらう「舞台裏方体験講座」を開催しました。ここで得た知識を創作活動にフィードバックしてもらうことで、若い世代の舞台芸術への取り組みにつながる機会としました。
- ・恒例の浜北寄席は桂文枝独演会を開催しました。アンケートには開催を喜ぶ声や文枝さんの健在ぶりを称える声が寄せられ、開催を待ち望まれていたことがうかがえました。コロナ禍によりホールから遠ざかっていた中高年層の皆様にご鑑賞していただく機会となりました。
- ・ホームページをリニューアルし、提供する情報のレイアウト整理による視認性や可読性の向上を図りました。また、情報発信の間口を広げるためにスマホサイトを新設し、若年層をはじめとした多くの利用者に情報を届ける環境も整えました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
妊婦とお母さんのための 「ゆるやかコンサート」シリーズ	5/24	80	子どもとお母さんを主な対象として、浜松を拠点に活躍する演奏家によるクラシックコンサートを実施。
	7/26	136	
	9/15	126	
	12/14	133	
文化団体作品展示事業			
浜北郷土史部「秋葉山竜灯・常夜灯」	8/3～31	1,198	コロナ禍以降活動の縮小や発表機会の減少が続く地域文化団体へ場を提供することで活動の活性化を促進。
乃の屋 作品展	8/6・7		
舞台裏方体験講座	8/18・19	42	演劇公演に必要となる舞台照明や音響等の知識に触れてもらうため、高校演劇部部員を対象に実施。 協力：静岡県西部高校演劇協議会

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
お母さんと子どもたちのための ゆるやかワークショップ	10/19	8	親子がリズムに乗りながら楽しめるエクササイズ。赤ちゃんとのコミュニケーションや遊びを通じて、参加者同士の交流も図った。
はまきたまるごと文化フェス 2023	1/21・22	3,085	当館を拠点に活動する地域文化団体が集結して活動の発表を行った。なゆた・浜北との共同開催。
第12回浜松市民バンドフェスティバル	2/5 中止	-	市内の市民吹奏楽団による吹奏楽フェスティバル。コロナ禍の影響により中止とした。 共催：浜松市民バンド協議会
第38回浜北寄席「桂文枝独演会」	2/12	644	地域寄席としてお馴染みの催し。以前に計画したもののコロナ禍のため開催できずにいた桂文枝の独演会を開催。
「ゆるやかコンサート」特別編 おとうさんもいっしょ!SPEACAL JAZZ LIVE	2/18	204	子どもとお母さんだけでなくお父さんも参加しやすい日時と内容を設定し、家族が揃って音楽を楽しむ機会を提供。
貸館広報事業	通年	-	貸館利用の促進を目的としてホームページリニューアルやスマホサイト設置などを行い、情報発信の環境を整えた。
インターンシップ実習受入	8/17～20	4	静岡文化芸術大学ほか県内外からの大学生を受け入れた。
合計	9事業★	5,660	

★中止事業は除く

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
本館	大ホール	61.1% (51.4%)	293 (333)	179 (171)	61,688※ (52,801) ※
	小ホール	61.7% (52.9%)	326 (329)	201 (174)	21,532※ (17,928) ※
	リハーサル室	99.1% (95.4%)	344 (346)	341 (330)	8,854 (6,580)
	練習室 (3室)	89.3% (80.3%)	1,033 (1,038)	922 (833)	13,631 (10,788)
	多目的室	80.5% (66.5%)	344 (346)	277 (230)	9,866 (7,674)
	大会議室	71.2% (51.4%)	344 (346)	245 (178)	21,752 (13,468)
	会議室 (5室)	75.7% (64.7%)	1,719 (1,730)	1,302 (1,120)	23,881 (17,626)
	第1和室	48.0% (41.9%)	344 (346)	165 (145)	2,541 (2,236)
	文化活動室	64.8% (54.1%)	344 (342)	223 (185)	3,377 (2,659)
北館	第6会議室	77.0% (60.7%)	344 (346)	265 (210)	3,897 (3,026)
	第7会議室	75.0% (82.7%)	344 (346)	258 (286)	2,560 (3,646)
	第2和室	59.9% (53.5%)	344 (346)	206 (185)	2,481 (2,673)
	談話室	80.6% (81.5%)	345 (346)	278 (282)	2,885 (2,659)
	料理工房	14.5% (13.0%)	344 (346)	50 (45)	734 (609)
	音楽室	100.0% (97.7%)	344 (346)	344 (338)	3,852 (3,440)
	第1創作工房	15.1% (9.2%)	344 (346)	52 (32)	256 (175)
	第2創作工房	27.9% (22.8%)	344 (346)	96 (79)	1,537 (1,088)
	コミュニティ活動室	98.0% (93.9%)	344 (346)	337 (325)	8,460 (8,604)
合 計					193,784 (157,680)

※楽屋利用数を含む

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	43,441,878	38,516,978	4,924,900

(4) 浜松市なゆた・浜北

① 運営総括

なゆた・浜北は、ホール、練習室及び駐車場部分について、浜北文化センターと市民ミュージアム浜北との一括指定管理により、当財団と株式会社なゆた浜北の共同事業体で管理運営を行っています。

令和4年度は、ダンスやジャズ、映画祭、お笑いなどの文化事業と朝市やイルミネーションなどのイベントを開催し、浜北駅前の活性化を図るとともに、地域住民が音楽や映画などに触れる機会を創出しました。また、当地区はファミリーが多いことから、子育て世代を対象に「親子で作るクラフト講座」を開講しました。

そのほか、令和3年度はコロナ禍により中止となった「はまきたまると文化フェス」を、浜北文化センターとの共同企画として開催し、市民の日頃の練習成果の発表と団体間の交流促進とともに、両館の連携強化を図ることができました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「なゆたジャズフェスティバル」は、浜松の人気と実力を兼ね備えたジャズグループ5組が出演し、地域の方がジャズの魅力を身近に感じることができる機会となりました。
- ・屋外では恒例の朝市やイルミネーションを実施し、地場産品の販売やプロムナードコンサートとタイアップした点灯式を開催するなどして、浜北駅前のにぎわい創出を図りました。
- ・浜北文化センターと共同で開催した「はまきたまると文化フェス」では、日頃は一方の館のみを利用している文化団体が他方の舞台で発表することにより、利用者の往来が生まれ、貸館において練習を目的に利用するなどの新たな需要を得ることができました。
- ・「親子で作るクラフト講座」は、コロナ禍、“おうち時間を楽しもう！”をキャッチフレーズに、自宅で作れるようにポイントを説明しながら材料と作り方の説明書をお渡し、小学生を対象に3回実施しました。
- ・なゆた・浜北の認知度を向上させるため、イベントのPR動画を区役所や遠鉄電車内、駅待合のサイネージに流すとともに、浜北文化センターとの連携で「第38回浜北寄席（センター事業）」でも放映し、浜北地区への誘客につなげました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
自主事業 (9事業)			
親子で作るクラフト講座 (材料と説明書を渡し、自宅で制作する方法で実施。)			
親子で“鳥かご風アレンジ”を作ろう！	5/7	22	小学生向けの親子クラフト講座。母の日のプレゼントに最適。プリザーブドフラワーと造花の可愛い組み合わせでアレンジメントを作成。
親子でハーブ入り“シューズキーパー”を作ろう！	6/11	10	布袋の中に乾燥したハーブを入れて「サシェ」を作成。
親子で“インテリアボード”を作ろう！	11/13	9	木の実類をかざりつけ、クリスマス飾りにも使える“インテリアボード”を作成。
なゆた・映画まつり	10/8	332	シニアのための名画を楽しむイベント。映画館にしばらく行っていない方も気軽に楽しめる映画祭。
天下無敵の爆裂ライブ in なゆた・浜北	11/3	257	全国で300回以上開催されている伝説のライブが旬な芸人を引き連れて「なゆた・浜北」に初登場。人気のものまね芸人3組が出演し、2回公演を実施。
なゆた・浜北 イルミネーション	11/12～ 2/12	-	なゆた・浜北恒例のイルミネーション。11/12のプロムナードコンサート内で点灯式を実施。昨年に続きトピアリーを新調・増強し、好評を得た。

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
はまきたまるごと文化フェス 2023	1/21・22	845	浜北文化センターとの協働で両館の利用者に発表の場を提供するイベント。コロナ感染対策を実施のうえ開催。
なゆたジャズフェスティバル	2/26	231	ジャズの生演奏で週末を楽しむコンサート。ジャズが盛んな浜松のニーズを満たすイベント。
はまきた駅前 なゆた朝市	月2回 第2・第4 火曜日	-	浜北駅前で開催する、なゆた恒例の人気企画を継続。地元産の新鮮な野菜の販売。にぎわいを創出する駅前活性化事業。
なゆた・浜北朝市	7回 一部中止	-	安くて新鮮な朝採れ野菜の販売や掘出し物が楽しみなフリーマーケットを開催。地域出店者により販売。4～5月、9～10月は出店者都合により中止。11月ははまきた産業祭の開催により中止。
青空ツイスティン	8回 一部中止	-	地元演奏家や音楽愛好家にライブステージ演奏の場を提供。発表の場の創出と駅前のにぎわいをつくる事業。11/13にイルミネーションの時間に合わせて開催予定であったが雨天のため中止。12/11は17時～19時30分に変更して開催。
合計	9事業	1,706	

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
なゆたホール	45.2% (42.2%)	341 (341)	154 (144)	25,976 (13,085)
第1控室	24.8% (22.2%)	347 (347)	86 (77)	797 (544)
第2控室	22.8% (21.0%)	347 (347)	79 (73)	851 (550)
第1練習室	100.0% (99.4%)	347 (347)	347 (345)	3,051 (2,846)
第2練習室	99.7% (98.6%)	347 (347)	346 (342)	3,884 (3,312)
第3練習室	89.6% (90.8%)	347 (347)	311 (315)	3,537 (3,835)
合計				38,096 (24,172)

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	10,683,040	9,055,400	1,627,640

(5) 浜松市天竜壬生ホール

① 運営総括

北遠地域における文化振興の拠点として、当ホールにおける文化芸術公演のほか、地域の活性化に結び付ける活動やアウトリーチ事業を展開しました。

当館の主要事業として開館以来続けている地域の小・中学生のための育成事業「MIBU ワークショップ」では、ミュージカルとダンスのレッスンを毎月積み重ね、年末の発表公演では、20年という節目をOBOGも交えての演出としました。

市民が参画する企画としては、「みぶアーティストステージ」や「MIBU吹奏楽フェスティバル」、「みぶ絵手紙展」など、地域で文化活動を行う団体と連携して発表と鑑賞の機会を提供しました。

また、平日夜のホール活用を企図した「シリーズ壬生の響き」では、地元商工会の協力のもと地域の特産品を販売する物販コーナーも併設し、地域の活性化に結び付ける活動にも取り組みました。

そのほか施設外での事業活動として「天竜区ふれあいコンサート」を開催し、施設から離れた地区での鑑賞機会を創出しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「MIBU ワークショップ」では、コロナ禍での活動として、ホールでのレッスンや分散練習により密集を避けるなどの対策を行い、練習を継続しました。20周年を迎えた発表公演ではOBOGの協力により発表内容を充実させるとともに、来場が困難な方へのライブ動画配信も行いました。
- ・地域文化の担い手である団体が参加する事業として「MIBU吹奏楽フェスティバル」や「MIBU New Year Concert」、「みぶ遠州の和太鼓」、「みぶ絵手紙展」を開催し、それぞれが日頃の研鑽の成果を披露するとともに、団体同士が交流を図る機会としました。
- ・「シリーズ壬生の響き」は、仕事帰りでも気軽に文化鑑賞ができる機会を創出しようと、平日の夜に行う企画として立ち上げました。浜松にゆかりのあるアーティストを起用し、また「天竜マルシェ」と題して地元の商店による物販コーナーを設けることで、地域とのつながりも強化しました。
- ・アウトリーチ企画である「天竜区ふれあいコンサート」では、プロのチェロ奏者と地域にゆかりのあるピアノ奏者が出張演奏し、中山間地区において学校の体育館をお借りし、小学生から高齢者までが馴染みのあるクラシック曲を中心に気軽に質の高い芸術を鑑賞できる機会としました。
- ・四季を通じて写真映えする施設の様子や催事情報・事業レポートを、Instagramを活用して積極的に配信し、また「MIBU吹奏楽フェスティバル」では地域の鉄道会社に協力をいただきながら事業広報を図るなど、広報活動の強化に努めました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
指定事業 (文化振興事業 2事業)			
MIBU New Year Concert 2023	1/28	318	クラリネット奏者小谷口直子を招いて、森田利明指揮の地元吹奏楽団「MIBU New Year Festival Band」とのコンサート。ピアノ伴奏は西脇小百合。
長尾春花ヴァイオリン・リサイタル	3/19	205	静岡県掛川市出身のヴァイオリニスト長尾春花のリサイタル。ピアノ伴奏は實川風。
指定事業 (芸術普及事業 7事業)			
MIBU ワークショップ ダンスクラス	48回	2,461	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術・文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	25回	966	
第6回みぶアーティストステージ	7/10	226	

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
第4回MIBU吹奏楽フェスティバル	11/3	282	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。出演校学生による魅力発信ブースも同時開催。
MIBU ワークショップ 20 周年記念 発表公演 Vol. 20			助成：(公財)静岡県西部しんきん地域振興財団
ミュージカル公演	12/24	211	MIBU ワークショップ受講生の成果発表会。今回は開館 20 周年、MIBU ワークショップ開講 20 周年の記念公演。第一部は、20 周年記念ステージ「ただいま！」第二部は、「Down Town Story!!」を上演。ライブ配信も実施。ライブ配信視聴者数：490 人
ダンス公演	12/25	428	MIBU ワークショップ受講生の成果発表会。今回は開館 20 周年、MIBU ワークショップ開講 20 周年の記念公演。第一部は「学年ステージ」、第二部は「20th Anniversary Show!」、第三部は「合同ステージ～ディセリダント～」の 3 部構成。ライブ配信も実施。ライブ配信視聴者数：870 人
みぶ遠州の和太鼓 2023	2/5	300	静岡県西部の 12 の和太鼓団体の競演。
みぶ絵手紙展～野山も笑う～	3/9～19	1,060	天竜区内や近隣で活動する絵手紙団体との共同企画による展示会。最終日の 19 日は絵手紙無料体験会を開催。
自主事業 (7 事業)			
ステージ演奏体験	5/15 8/12～14 10/22 1/22 2/26	23 47 31 19 23	コンサートピアノを会館側で準備し、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用できる。ホール空き日を活用。
シリーズ壬生の響き	6/10 2/17	241 401	金曜の夜に行う、プロ演奏家によるカジュアルテイストのコンサート。ホワイエで地元の名店がテイクアウト商品を販売するマルシェを同時開催。 Vol.1 (6/10) ユーフォニアム&ピアノ Vol.2 (2/17) サックス&ピアノ
みぶホールで運動あそび			
お母さんと赤ちゃんのエクササイズ	10/6	9	赤ちゃんと保護者を対象とした簡単なリズム体操講座。
みぶホールを探検しよう!	10/16	16	3歳～5歳の子どもと保護者を対象にした親子遊び教室。
育てよう!アマゴの里親募集			
托卵講座	11/27	54	魚の卵を孵化させ稚魚にすることを各家庭で体験してもらおう企画。育った稚魚は二俣川へ放流。
稚魚放流会	2/12	51	協力:天竜川漁業協同組合、川や湖をきれいにする市民会議
壬生の花見茶席	3/26	30	季節を感じる呈茶サービスの実施。
チケット受託販売	通年	-	壬生ホール利用者の開催公演のチケット受託販売。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
魅力発信事業	通年	-	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信。
自主事業 (共催事業 1 事業)			
浜松市天竜区ふれあいコンサート	10/30	120	一流演奏家によるクラシックコンサート (ピアノとチェロ)。 共催: 浜松市天竜区ふれあいコンサート実行委員会
協力事業 (3 事業)			
ミュージカル公演 「森は未来への贈り物！」	10/9	760	アクトシティ浜松大ホールでのミュージカル・ダンス公演の運営を支援。出演者数は69人。 主催: 「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会
天竜芸術祭芸能発表会	10/30	837	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸能祭の舞台運営を支援。 主催: 天竜芸術祭芸能発表会実行委員会
第4回浜松地域中高生のための 管打楽器ソロコンテスト	12/26・27	492	中学校・高校に在籍している学生で応募があった出場者による、管打楽器全般のソロコンテスト。 主催: NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会
その他の事業 (1 事業)			
インターンシップ実習・就業体験受入	8/13、9/10 1/31~2/2	3	学生の就業体験に対する協力。 短大生1名、高校生2名。
合計	21 事業	9,614	

イ 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	70.1% (64.5%)	304 (307)	213 (198)	26,237 (17,023)
リハーサル室	99.1% (94.2%)	342 (343)	339 (323)	11,203 (9,329)
会議室 (2 室)	75.4% (69.1)	338 (343)	255 (237)	10,617 (6,991)
展示ギャラリー1・2	16.5% (15.1%)	685 (687)	113 (104)	15,522 (12,186)
その他 (楽屋、音楽練習室、ホワイエ、ホール舞台、野外ステージ)				4,212 (3,106)
合計				67,791 (48,635)

ウ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	9,003,980	7,380,820	1,623,160

(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

① 運営の総括

令和4年度は、令和3年度に引き続き、市民音楽団体の練習や成果発表の拠点としての運営に努め、多くの皆様にホールの特長を知っていただくよう取り組みました。

次代の音楽人材を育成する事業として、浜松ジュニアプラスやアクトシティ音楽院のジャズクリニック成果披露演奏会、大学との連携による子どもを対象としたワークショップなど、小学生から大学生までの育成に大人や専門家が関わる、人材育成の循環を生むための取り組みを展開しました。

また、市民発案の企画を当館とともに実現する「アイディア・チャレンジ事業」により、市民の主体的な挑戦を支援しました。施設の活性化を目的とする「ミュージックフェスティバル」では、地域住民や学校、企業と連携して、文化活動の発表や地元産品の物販などを行い、地域に開かれた施設を目指しました。さらに、NPO法人との連携によりユニバーサル視点を取り入れた「マジックハートコンサート」も開催しました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・「浜松ジュニアプラス育成事業」は、市内小学生有志からなる合同吹奏楽団を、NPO法人浜松市生涯学習音楽協議会の認定指導員が年間を通じて指導し、生涯学習における文化活動として、次世代の育成に市民が関わる学びと教への循環を実践する事業として実施しました。
- ・アクトシティ音楽院が市内の中学校や高校で実施している「ジャズクリニック」と連携し、ジャズピアニスト守屋純子氏を中心とする講師陣と受講生による練習成果の披露演奏会を開催しました。
- ・「大学連携事業」は、常葉大学と連携し、大学生が学んでいる専門性を活かした子ども対象のワークショップを開催しました。この事業は次代の指導者を目指す大学生にとっても、良い学びの機会となっています。
- ・「アイディア・チャレンジ事業」は、当館を会場とした事業を公募し、企画段階から当日の実施までを包括的に支援する伴走型の事業です。既成の概念にとらわれない応募者の自由な発想を尊重して実施することで、気軽に何にでも挑戦できる機会とし、今回はサーラ音楽ホールと上阿多古小学校の2会場で同時に鑑賞教室を行いました。ホールの中継機能を活用して上阿多古小学校とリモート中継を結ぶことで相互コミュニケーションを図り、ホールまで出掛ける機会の少ない地域の児童にもホールに親しんでもらう機会と、プロの演奏家による音楽に触れる機会を提供しました。
- ・乳幼児や高齢者、障がいのある人など誰もが参画しやすい「マジックハートコンサート」を、開催日までの準備も含めてワークショップとして構成し、地域に根差した活動を行うNPO法人との協働により開催しました。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 5事業）			
アイディア・チャレンジ事業 「リモート鑑賞教室」	10/11 収録 11/6 収録 11/14 本番	参加生徒数 ホール 6年生 8人 小学校 1～5年生 10人	市民提案によるホール活性化事業。 アンサンブル・ムジーク浜松が発案した企画をホール主催事業として実施。演奏家を学校及びホールへ派遣して音楽鑑賞教室を実施。また、ホールの映像配信設備を活用し、両会場をリモート中継で結び、相互コミュニケーションを図った。 会場：ホール・上阿多古小学校
ユニバーサル事業 マジックハートコンサート	5/29、7/23、 11/26、1/21、 3/25	延べ人数 310	客席がフラットな多目的室を会場として、障がいのある人や、子育て世代を主な対象としたコンサートを開催。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
マジックハート・ クリスマスコンサート	12/18	300	「マジックハートコンサート」の規模を拡大し、ホールを利用した障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを実施。健常者、障がい者がともに楽しめるコンサートとして開催。 共催：認定NPO 法人魅惑的倶楽部
サポーターズクラブ	通年	-	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用。登録者数130人。
エントランスロビー活用事業 「浜松市民ギャラリー」	通年	-	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示。作品点数10点。 協力：浜松市書道連盟、浜松市美術協会、 浜松市写真家協議会
指定事業 (次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 5事業)			
浜松ジュニアプラス育成事業 (小学生世代)			
浜松ジュニアプラス定期練習	19回	団員数 28	浜松市内の小学生による合同吹奏楽バンドの育成をNPO 法人浜松生涯学習音楽協議会と協働で実施。
浜松ジュニアプラス 第2回定期演奏会	3/19	458	練習の成果を披露する演奏会を開催。ゲストに市立高校吹奏楽部を招聘して、関係者のみならず地元住民を中心に集客を行い、本格的なコンサート形式で開催。
常葉大学連携事業			
健幸アンバサダー養成講座	8/19	30	地元の大学生が企画運営する子ども対象のワークショップを開催するとともに、一般市民対象講座も開催。 共催：常葉大学浜松キャンパス
楽しくからだを動かして認知症 予防！～トコハ大学生 健幸アン バサダーから学ぼう～	10/18	34	
パラスポーツ『ボッチャ』体験 会	12/10	30	
幼児・児童英語：英語で楽しく 歌って遊びましょう！	12/22	66	
ジャズクリニック成果披露演奏会 「サーラ音楽ホール ジャズステージ」	2/19	447	アクトシティ音楽院事業である市内中高生を対象とした「ジャズクリニック」受講校の成果披露の場として、発表会を実施。受講校と講師陣とのホールでの演奏機会を提供した。受講3校と講師陣による合同ステージも開催。 出演校：3校、講師出演者：6人
ゆるやかワークショップ 「みんなであるこう♪ はじめのいっぽ！」	3/8	40	幼児と保護者を対象とした簡単な運動ワークショップを実施。
国際音楽交流事業	3/14	119	アメリカ・ネバダ州 Meadows School の音楽専攻学生39人と浜松市内吹奏楽部（浜松聖星高校吹奏楽部）80人の交流。2校のマッチング及び交流イベントを実施。

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
指定事業 (その他事業 2事業)			
サーラ音楽ホール運営委員会	3/13	-	施設利用者、教育団体、地域自治会等、施設の関係団体代表者によるホール事業や施設運営改善を目的とした会合を開催。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	-	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信するための館内掲示スペースの活用。
自主事業 (1事業)			
サーラ音楽ホール 「ミュージックフェスティバル」 (企業協賛・地域連携事業)	11/6	2,000	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的とした文化活動の発表や地元産品の物販などを実施。多目的室では、新都田自治会連合会による「アート展示」を同時開催。
その他の事業 (1事業)			
インターンシップ実習受入	8/14	1	静岡県近郊の大学生を受入。
合計	14事業	3,881	

<特別協力事業実績>

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
浜松バンドスピリット 2022 サーラ杯	5/8	1,000	浜松市吹奏楽連盟に加盟する中学校・高等学校10校が出場する吹奏楽大会を開催。 会場：ホール 協賛：サーラコーポレーション
浜松ユース吹奏楽団定期練習	10回	団員数 150	NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会が実施する浜松市内の高校生を中心とした合同吹奏楽バンド育成の練習会場として、稼働率の低い平日夜間のホールへ誘致。 会場：ホール
浜松市小学校音楽科研究発表会 校外学習マッチング	①11/30 ②12/1	①都田小 14 ②与進小 160	「浜松市小学校音楽科研究発表会」出演校の校外学習として、「都田アソシエイツ」に加盟する企業の工場見学等をマッチング。 会場：①テイボー株式会社 ②株式会社エヌエステー ASTI 株式会社 やまと興業株式会社 株式会社エコム 株式会社浜松パルス
浜松ユース吹奏楽団 第1回定期演奏会	1/15	1,000	浜松ユース吹奏楽団の練習成果として、発表会を実施。 会場：ホール
合計	4事業	2,324	

イ 施設稼働率等

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	71.6% (56.8%)	306 (227)	219 (129)	83,198 (32,622)
多目的室1	86.0% (77.6%)	336 (246)	289 (191)	15,577 (6,043)
多目的室2	74.8% (53.3%)	333 (244)	249 (130)	11,072 (3,477)
多目的室3	64.7% (49.4%)	334 (243)	216 (120)	9,565 (3,248)
合 計				119,412 (45,390)

※令和3年度は7月より施設貸出を開始

3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

(1) 浜松市楽器博物館

① 運営について

展示事業では、コロナ禍において改めて身近な人と身近な博物館を楽しんでいただきたいと考え、親しみやすい動物と楽器の関わりをテーマに、特別展「発見！楽器の動物園」を開催しました。また、蛇腹を使って奏でる楽器をより深く知っていただくため、企画展では「蛇腹楽器展」を開催しました。

展示に連動してレクチャーコンサートを開催し、普段聞くことのできない楽器を紹介するとともに、展示室内での「ギャラリートーク」や「ミュージアムサロン」により、楽器の魅力を来館者にお楽しみいただきました。

天空広場で開催した「シリーズ音楽の広場」には多くの地域の音楽家に出演いただき、ワークショップエリアでの演奏体験や楽器づくりなどの講座とともに、地域の皆様や子どもたちに親しまれる博物館を目指しました。

また、オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館や動画の配信・SNSの活用により全国に向けて情報を発信するとともに、国際博物館会議に参加して当館の取り組みを世界に発表しました。

国立科学博物館でのミニ企画展や地元楽器メーカーとの協働による最新技術を利用した馬頭琴の自動演奏展示、静岡文化芸術大生によるギャラリートークなど、連携事業の充実を図りました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・特別展「発見！楽器の動物園」では、動物と関わりのある世界の楽器を展示し、人間と楽器の深い絆や、背景にある文化や信仰、さらに動物と人間との結びつきに焦点を当てました。特にワークシートは子供から大人まで楽しめるものとし、幅広い年代に楽しんでいただくことができました。
- ・企画展「蛇腹楽器展」は、監修に日本におけるバンドネオンの第一人者である小松亮太氏をお迎えし、蛇腹楽器の歴史や種類、音楽を実物展示と動画により、わかりやすく紹介しました。
- ・レクチャーコンサートでは、コロナ禍で海外からの来日が厳しいこともあり、日本在住の外国人の演奏家により北インドの楽器「シタール」やモンゴルの楽器「馬頭琴」など、本場の音楽を紹介しました。
- ・イブニングサロンコンサートでは「アフガニスタンの音楽」を紹介しました。タリバンによって音楽が禁止されてしまったアフガニスタンの現状や、シルクロードの拠点として育まれた魅力的で豊かな音楽を、多くの方々に知っていただきました。
- ・3年に一度、世界中の博物館関係者が一堂に会する ICOM2022（国際博物館会議：チェコ・プラハ市）において、令和3年度に実施した日本の伝統楽器「琵琶」に関する研究成果と、最新技術を活用した琵琶の演奏再現プロジェクトなどの取り組みを紹介しました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
特別展・企画展・常設展・ミニ展示 (5事業)			
企画展 「テルミン誕生101年 電子楽器の過去と未来」	4/1～5/10 (R3.12/11 ～)	※7,697	音楽シーンに革命を起こしてきた名器やその開発秘話から電子楽器の歴史を紹介。
特別展 「発見！楽器の動物園」	7/30～ 12/13	※29,153	動物と関わりのある楽器を展示しながら、シンボルとしての楽器と動物のありかたを中心的に紹介。
特別展関連展示 「Real Sound Viewing 馬頭琴演奏再現」	10/27～ 12/13	※9,325	演奏した音をデータ化し、細かい振動へと変換する装置を馬頭琴に取り付けて自動演奏を実現。 共催：ヤマハ株式会社

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
企画展「小松亮太監修 蛇腹楽器展 おくり魅かれる風・音色 バンドネオンの謎と真実」		1/14～3/31 (～5/9)	※13,810	バンドネオン誕生の背景や構造、音楽を紹介。監修：小松亮太（バンドネオン奏者）
常設展の運営・整備		通年	-	楽器展示室、体験室の管理運営。
ミニ展示				
	「世界の可愛い人形たち」	4/1～3/31 (R1. 10/10～)	※64,361	楽器を持った世界の人形を素材別に展示。
	「正倉院の楽器」	4/1～7/12 (R3. 4/29～)	※15,162	螺鈿紫檀五絃琵琶（模造）、金銀平文琴（模造）を入れ替えて展示。
	「移動楽器博物館 ～楽器と音のしくみ～」	4/1～3/31 (R3. 4/29～)	※64,361	移動楽器博物館の取組みや各校で紹介する楽器を展示。
	「敦煌莫高窟壁画からの復元楽器」	4/1～5/24 (R3. 7/8～)	※9,156	古代中国の楽器を復元して展示。
	「楽器と動物」	4/1～5/24 (R4. 2/10～)	※9,156	動物の骨、皮、甲羅などを使った楽器を展示。
	「アフガニスタン音楽の楽器」	4/1～3/31 (R4. 3/16～)	※64,361	アフガニスタンおよびその周辺で使われている楽器を紹介。
	「沖縄復帰 50 周年 琉球の楽器ウズブラ&ウマブラ」	6/4～3/31	※54,142	琉球王朝時代の楽器を復元して展示。
	「風が奏でる楽器」	6/9～10/11	※24,539	自然の風を利用して音を出す楽器を紹介。
	「琵琶はどこからやってきた？ ～楽器の東西伝播～」	11/25～ 3/31	※20,210	古代ペルシアの楽器がどのように伝播して琵琶へ変化したかを解説。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (3 事業★)				
	展示室ガイドツアー	毎日曜日 休	-	当館職員によるテーマ別の展示解説ツアー。 (コロナ感染拡大防止のため休止)
	ギャラリートーク	毎日	※12,575	職員による実演と展示解説。
	ミュージアムサロン	5 回	※892	ゲスト演奏家による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
	シリーズ音楽の広場	25 回	※2,752	地域の音楽家や職員等による展示室ミニコンサート。
演奏会（レクチャーコンサート） (4 事業)				
	ワールドミュージックコンサート in 浜松	5/29	84	世界各地の民族音楽とクラシックの楽器を合わせた類を見ない楽器編成のバンドが様々なジャンルの音楽を紹介。 出演：あれぐりあ大陸

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
北インド古典音楽の世界 シタール・タブラ・タンプーラ	7/9	104	ラーガとターラの規則に従い、自由に展開される即興演奏。 出演：アミット・ロイ、小室武史、池ヶ谷亜木子
ホーミー、馬頭琴、 横笛リンベ、ヨーチン ～モンゴル大草原の風の調べ～	8/7	60	モンゴルの様々な楽器、ホーミー（喉歌）や伝承曲などモンゴル音楽全般を紹介。 出演：マハバル・サウガゲレル、山本敦子
名器ブランシェでよみがえる至高の美～ ヴェルサイユのクラヴサン音楽～	10/15	111	当館所属のチェンバロ（F.E.ブランシェ2世製作、1765年、パリ）を使用。 出演：中野振一郎
演奏会（イブニングサロンコンサート）（1事業）			
アフガニスタン音楽の夕べ	4/30	53	アフガニスタンを代表する民族弦楽器ラバブとトンバクなどのパーカッションでアフガン音楽を演奏。出演：ちやるばーさ
講座・ワークショップ（9事業）			
ワークショップ 「テルミンやマトリヨミンの演奏に 挑戦しよう！」	4/2・3 4/9・10 5/2 8/2・3	※182	触れずに奏でることができる電子楽器「テルミン」「マトリヨミン」を体験。 講師：竹内正実、濱口晶生
出張ワークショップ 「ふしぎな電子楽器 テルミン・マトリヨミン」	8/10	180	触れずに奏でることができる電子楽器「テルミン」「マトリヨミン」を体験。 講師：竹内正実、鈴木雄也、若林豊秀 他 会場：イオンモール浜松市野
出張ワークショップ 「リードオルガン体験」	9/17	110	昔懐かしい足踏み式リードオルガンを体験。 講師：日本リードオルガン協会 会場：イオンモール浜松市野
子どもワークショップ 「うぐいす笛を作ろう！」	10/2	※9	歌舞伎などの効果音に使用されている擬音笛を製作。講師：福原芳華
楽器作りワークショップ 「とり笛をつくろう！」	10/10	※21	ボール紙とストローでとり笛を作って音出しを体験。小学生対象。 講師：職員、ボランティア
楽器工作ワークショップ 「青色LEDを使った電子楽器 “PB トーン” を作って演奏しよう！」	1/29	※8	青色LEDとセンサーとの距離によって音が変わる電子楽器を製作。 講師：山脇一休、浜松城北工業高校生徒
楽器工作ワークショップ 「ペットボトルでトーン・ホイール・ オルガンを作ろう」	2/18	※9	ハモンドオルガンの発音原理にもなっているトーン・ホイールを製作。 講師：R-Mono Lab
子どもワークショップ 「篠笛を作ろう！」	3/4	6	浜松まつりや邦楽全般で使われる篠笛を製作。 邦楽講師：福原芳華
講座「小松亮太が紐解く、バンドネオンの謎と真実」（全3回）			
第1回「バンドネオンの歴史」	1/14	76	蛇腹楽器展の監修を務めている小松亮太氏による、バンドネオンの謎と真実を解き明かす音楽講座。 講師：小松亮太
第2回「バンドネオンの奏法と構造」	2/25	71	
第3回「アルゼンチン・タンゴの魅力」	3/18	77	

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
市内小学校移動博物館 (6事業)			
水窪小学校	6/6・7	36	浜松市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民への開放も実施。
尾奈小学校	6/9・10	43	
亀玉小学校	6/15～17	340	
気田小学校	9/21・22	58	
三ヶ日東小学校	10/25・26	195	
浜名小学校	12/5～9	703	
楽器整理・調査・情報発信 (12事業)			
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	-	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。
音楽文化・芸能調査	通年	-	市内又は日本の伝承民俗芸能の調査。1/4「川名ひよんどり」(北区引佐町川名)の取材。
CD・図録等の制作	通年	-	特別展図録の制作。
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	-	年2回発行。市内小中学校・公共施設等に配布。
公式ホームページサイトの管理運営	通年	-	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信。
国際会議への参加と発表	8/20～28	-	国際博物館会議 ICOM・CIMCIM 年次大会(楽器の博物館とコレクション国際委員会) プラハ大会に参加。
新東名サービスエリア展示協力	通年	-	ネオパーサ浜松 SA(下り)にて当館所蔵楽器を展示。
Facebook での発信	通年	-	平成24年12月19日開始 フォロワー数3,660 (R5.3/31現在)
Instagram での発信	通年	-	平成31年4月1日開始 フォロワー数1,950 (R5.3/31現在)
Twitter での発信	通年	-	令和2年3月開始 フォロワー数1,980 (R5.3/31現在)
動画の制作・YouTube での発信	通年	-	楽器作りの動画を制作し YouTube にアップ。 チャンネル登録者数662人。
バーチャル楽器博物館の運営	通年 (R3.5/1～)	-	オンラインで館内を見学できるバーチャル楽器博物館を運営。教育の場での活用が見込まれる。障がいのある人やコロナ禍で来館できない方も、スマートフォンやパソコンから楽器博物館を楽しむことが可能。令和4年度のページビュー数6,105回。ユーザー数4,248人。
他博物館・教育研究機関等との連携 (4事業)			
市民ミュージアム浜北展示協力 「世界のラップたち」	4/1～5/24 (R4.3/19～)	-	当館所蔵の世界のラップを約40点展示。 会場: 浜北文化センター本館内、浜松市・市民ミュージアム浜北 1階特別展示室

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
国立科学博物館 第9回ヒットネットミニ企画展	4/1～5/8 (R4.3/23 ～)	-	日本の産業技術力や科学技術に対する関心を高めるため、国立科学博物館が年1回、全国から博物館4館を選出し、パネル展示にて紹介。 会場：国立科学博物館
静岡文化芸術大学との連携イベント			
「文芸大生と一緒に文化で世界を旅しよう！」	6/18 7/3	※65	静岡文化芸術大学 観光同好会COOK+Sによるギャラリートークを開催。楽器の東西伝播やその地域の文化について解説。当館職員が練習から当日の発表までサポート。
「文芸大生と学ぶ世界の楽器」	10/30	※13	小学生対象のワークショップ。馬頭琴やアングルンなど様々な楽器のお話や演奏を体験。当館職員が練習から当日の発表までサポート。
サーラ音楽ホールへオルガン貸し出し	11/6	-	当館所蔵リードオルガンを設置。誰でも自由に弾けるストリートオルガン企画。 会場：サーラ音楽ホール
研修受入 (5事業)			
職場体験学習受入	通年	18	浜松市の中学生および高校生の職場体験受入。
教職員研修受入	通年	-	浜松市および近郊の教職員の研修受入。 (令和4年度は受入無し)
学芸員実習受入	9/12～17	6	全国の大学から公募選考にて受入。
インターンシップ実習受入	9/17～19、25	4	市内や静岡県内外の大学生を中心に受入。
中学校・高校との共同授業	1/26	※37	インドネシアのガムランの演奏体験ほか。 対象：聖隷クリストファー中学校1年生
合計	49事業★	404,331	[観覧者数に含まれる数(※の事業) 401,996]

★休止事業は除く

イ 図録の制作・発行

- ・特別展図録「発見！楽器の動物園」

ウ 観覧者数

() 内は前年度実績

観覧者数計 (人)	内訳 (人)			
	大人	高校生	小中学生	幼児
64,361	50,017	2,406	9,366	2,572
(40,571)	(30,972)	(1,280)	(6,666)	(1,653)

エ 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
観覧料	31,037,600	19,668,400	11,369,200

(2) 浜松文芸館

① 運営総括

展示事業では浜松市教育文化奨励賞を受賞した松平和久、作詩家清水みのる、近年収集した資料を紹介した「浜松文芸館の宝物」展、俳人原田濱人(ひんじん)とその門弟を取り上げ、浜松ゆかりの文芸人たちを多くの人たちに知ってもらう展示としました。

講座等の事業は、16 講座、4 講演、1 朗読会を実施しました。講座や講演終了後にはアンケートを実施し、その意見を参考に変体仮名を読む「江戸の絵本講座」を新設しました。また、静岡大学地域創造学環(令和5年度からグローバル共創科学部)との連携事業は、文芸館を中心に散策し、詩や俳句でオリジナルマップを作成する親子を対象としたフィールドワークを実施しました。

『浜松市民文芸第 68 集』の発行では、文芸部を有する高校に高校生の応募を働きかけ、その結果、詩の部門では今年も高校生が市民文芸賞を受賞し、この世代の多数の作品が入選しました。若い世代の文芸活動の芽が育ってきています。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・企画展「古典文学研究家松平和久氏所蔵品展」では、令和3年度市教育文化奨励賞を受賞した松平氏所蔵の『万葉集』や『たけくらべ』など、長い年月をかけ収集した貴重な文学資料を展示し、多くの方に文学のおもしろさを知っていただく機会となりました。
- ・特別収蔵展「清水みのる展」は伊佐見小学校の協力を得て、「森の水車」を中心に三世代が楽しめる展示になりました。また、収蔵展「浜松文芸館の宝物」は近年収集した浜松ゆかりの文芸人たちの作品を多数展示し、浜松の文芸の魅力に親しんでもらえるような展示としました。「原田濱人」展では俳句結社「みづうみ」と協力し、濱人の思いを受け継いだ人たちの作品も展示しました。
- ・「移動浜松文芸館小百合葉子」展を都田図書館と雄踏文化センターで行い、全国的にも著名な劇団たんぼぼ創設者小百合葉子の功績や浜松文芸館の活動を市民の皆様知ってもらう機会としました。
- ・静岡大学地域創造学環と連携して行っている「ガチャで作ろう合作俳句」を継続して行い、参加者に渡す景品作成等の活動にも大学生が参画しました。若者による文化活動の芽が広がりました。
- ・「浜松市民文芸第 68 集」を発行し、9 部門で 2,134 点、投稿者延べ 527 名でした。裏表紙のイラストは静岡大学地域創造学環の学生に依頼し、若い人たちも手に取りやすい「浜松市民文芸」としました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
展示事業 (4 事業)			
企画展 「古典文学研究家 松平和久氏所蔵品展」	4/1～6/19 (3/1～)	※3,246	浜松市教育文化奨励賞を受賞し、浜松の文芸活動に貢献された松平氏の所蔵品展を開催。資料により紹介された古典文学の豊かな世界は、多くの人を魅了した。
特別収蔵展 「浜松を愛した望郷詩人 森の水車 清水みのる展」	7/1～ 10/16	※4,327	浜松市西区伊左地町出身の作詞家、清水みのるの業績を紹介。文芸館所蔵資料と合わせ、浜松市立伊佐見小学校からも資料を借り、充実した内容の展示とした。
収蔵展 「浜松文芸館の宝物 —新収集資料を中心に—」	11/1～ 2/12	※2,810	当館収蔵品の中から、新しく収集したものを中心に、浜松ゆかりの文芸人の貴重な資料を展示。浜松の文化を広く紹介。
特別収蔵展 「原田濱人とその思いを受け継ぐ 浜松の俳人たち」	3/1～31 (～ 6/18)	※1,177	俳誌「みづうみ」を創刊した、浜松市東区出身の俳人・原田濱人を紹介。偉大な業績と、それを受け継ぐ俳人たちの作品を展示。
講座 (13 事業★)			
『源氏物語』入門講座	6 回	164	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の花宴から明石までを読んだ。講師：松平和久

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
古文書読解講座	5回 中止	—	古文書を読み解きながら江戸時代の生活を知る講座。 講師：小木香（講師都合のため開催中止）
江戸の絵本講座	6回	96	変体仮名で書かれた江戸の絵本『あんぼんたん』をよむ講座。講師：勝田敏勝
川柳入門講座	5回	64	川柳を初めて学ぶ人のために、川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ講座。講師：今田久帆
『平家物語』講座	6回	141	『平家物語』の読解を通して当時の人々の死生観に迫る講座。巻六～七を読んだ。講師：大石嘉美
『おくのほそ道』講座	6回	145	芭蕉が旅で出会った人物との関わりに着目、「出会いと別れの物語」として味わう講座。講師：勝田敏勝
篆刻入門講座	5回	96	文字について学習し、書画作品等に押す自分の姓名印を作成。講師：下石哲幸
俳句入門講座Ⅰ・Ⅱ	10回	166	俳句を初めて学ぶ人のために、俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ講座。講師：村松二本、坪井孝之
朗読入門講座	6回	77	短詩や随筆を読みながら、声に出すことと表現することの楽しさを味わう講座。講師：堤腰和余
朗読書講座	6回	90	藤沢周平の短編を精読し、その世界を朗読で表現。講師：堤腰和余
短歌入門講座	5回	33	短歌を初めて学ぶ人のために、短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ講座。講師：村松建彦
近代詩鑑賞講座	5回	38	テキストとなる詩集を受講生自身が製本し、鑑賞する講座。講師：折金紀男
『万葉集』講座	6回	155	柿本人麻呂や高橋虫麻呂、大伴家持の歌をよむ講座。講師：松平和久
『古今和歌集』講座	6回	155	『古今和歌集』を読み解く講座。講師：松平和久
イベント（1事業）			
朗読会「堤腰和余が志賀直哉をよむ」	10/16	50	『小僧の神様』『赤西蠣太』の2作品を通して、志賀直哉の世界を味わう朗読会。講師：堤腰和余
講演会（4事業）			
講演会 『『蒋介石の書簡外交』とは』	5/14	45	歴史学者・経済学者の視点から、蒋介石の書簡外交を詳しく掘り下げ。講師：金原増吉
講演会 「松平先生が百人一首を語る」	6/15	52	小倉百人一首の選者・藤原定家とその時代背景について紹介。講師：松平和久
講演会「浜松ゆかりの近・現代作家たち～あの人この人、作品紹介～」	8/7	20	夏目漱石、藤枝静男、吉田知子ら浜松ゆかりの作家たちを紹介。講師：和久田雅之
講演会「芭蕉に学ぶ俳句の作り方」	11/12	52	『蕪村句評』等の引用を用いて、芭蕉の俳句の作り方を紹介。講師：高柳克弘
子ども向け事業（3事業）			
夏休み絵本づくり講座	7/23	10	小学4年生から6年生対象。自分で作ったお話でジャバラ絵本を作成。講師：井口恭子

事業名		開催日回数	参加者数(人)	内容
楽しいお話づくり講座		7/31	25	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦。講師：井口恭子
夏休み読書感想文講座		7/23、31	38	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ講座。講師：林容子
浜松市民文芸事業 (1事業)				
浜松市民文芸第68集の作品募集・選考・編集・発行・販売・電子出版		通年	—	浜松市民文芸の発行と販売。あわせてホームページ上に電子書籍として公開。
資料の調査研究・保存・整理 (1事業)				
資料収集・研究・整理事業		通年	—	資料収集対象者を中心とした資料の収集・分類・研究及び寄贈品の登録等。
教育機関との連携 (4事業)				
入館者や学習見学者への案内・説明		通年	—	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受入。
職場体験学習・フィールドワーク受入		通年	—	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高校生の体験学習の受入と出前講座の実施。
特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業 「オリジナルマップDEススメ！」		11/20	10	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。合作俳句を継続して行っている。11月には一般の参加者を募集し、文芸館を中心に散策し、詩や俳句でオリジナルマップを作成。
インターンシップ実習受入		4～7月	1	地域人材育成のため、浜松学院大学3年生を長期企業内留学生として受入。展示事業などを体験。
クリエート浜松とのコラボ事業 (2事業)				
浜松文芸館インフォメーションコーナーの運営		通年	—	クリエート浜松1階に浜松文芸館を紹介するコーナーを設置し、浜松文芸館の存在と事業を広く周知。
クリエートの冬まつりにおける浜松文芸館コーナーの開催		1/21・22	—	クリエートの冬まつりにおいて、「文芸館のあゆみ」と題し、今までに開催した展覧会のポスター28枚を展示。また静岡大学地域創造学環フィールドワーク・ワークショップで作成したオリジナルマップを展示。
その他事業 (6事業)				
文芸館だより「いざない」発行		通年	—	浜松文芸館の各講座や展示、浜松と関係のある文人、文学を紹介。No.72～75を発行。
浜松市文化振興財団自主出版 「風紋のアンソロジー」Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ販売		通年	—	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売。(500円/冊)
「裾野の『虹』が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡」販売		通年	—	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売。(2,037円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売		通年	—	講座講師の著書や、遠州綿紬のブックカバー、地元縁店の「ミニフォトフレーム」等の委託販売。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
移動浜松文芸館	6/1～30 8/1～31	—	図書館や学校へ浜松文芸館の展示資料を貸出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。小百合葉子展の資料を都田図書館、雄踏文化センターへ貸出。
「BUNBUN はままつ」	12月	—	「浜松百撰」との協賛事業。浜松市民文芸受賞者を対象に募集した作品を「浜松百撰」誌に掲載。
合計	39事業★	13,283	[観覧者数と重複する人数(※の事業)11,560人]

★中止講座は除く

※別表 第68集「浜松市民文芸」応募状況】()内は前年度実績

募集部門	応募数(人)
小説	12 (15)
児童文学	7 (8)
評論	4 (4)
随筆	27 (27)
詩	42 (169)
短歌	100 (107)
定型俳句	198 (187)
自由律俳句	44 (38)
川柳	93 (87)
合計	527 (642)

イ 施設稼働率等

()内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数(日)	延べ利用実数(日)	入場者数(人)
講座室	66.3% (55.9%)	353 (356)	234 (199)	2,483 (1,572)

ウ 観覧者数

()内は前年度実績

開館日数(日)	観覧者数計(人)	内訳(人)		
		大人(高齢者含む)	高校生	小中学生未就学児
313 (318)	11,560 (11,104)	11,315 (10,848)	22 (39)	223 (217)

エ 利用料金収入

収入区分	当年度(円)	前年度(円)	差額(円)
施設利用	450,530	368,340	82,190

(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北

① 運営総括

令和4年度の市民ミュージアム浜北は、地域の文化を継承し次世代に伝えるための様々な取り組みを行いました。小学校への出張講座や若年層を対象とした体験コーナーの設置などにより、若い世代が地域の歴史や文化について学ぶ機会としました。

出張講座や体験コーナーでは、展示や資料を見るだけでなく、道具の使い方や作品の作り方を知るとともに当時の人々の生活に思いを馳せることで、地域の歴史やミュージアムの展示を肌で感じてもらうと、体験することに重点を置いて実施しました。参加者からも「知ってはいたけれど作るのははじめて」「昔の人がやっていたことを知ることができて楽しかった」などの声をいただくことができました。

広報面では、InstagramなどのSNSや、紙媒体である文化センターイベントガイドへの記事掲載により、幅広い年齢層に向けて情報の発信を行いました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・区内の小学校や協働センターなどへのアウトリーチとして出張講座を行い、浜北に伝わる郷土玩具の由来などを紹介しながら、その作り方を伝えました。工作を楽しみながら地域の文化に触れることで、若い世代が自らの地域に関心を持つ機会としました。
- ・夏休みに子どもたちが地域の生活や歴史を学ぶ機会とするため、夏の特別プログラムとして機織りや藍染めなどの体験コーナーを開設しました。実際に手を動かすことで地域の文化を身近に感じてもらうことができました。
- ・ミュージアム内で「ひだまりコンサート」を開催し、フルートと箏の音色とともに地域の歴史や生活に関する展示を行いました。館内の雰囲気と音楽で、普段とは違うミュージアムをお楽しみいただきました。
- ・楽器博物館の出張展示「世界のラップたち」を開催し、アルプホルンやペルーのホルンなど世界の珍しいラップ約40点を紹介しました。浜松まつりのラップにも触れ、世界や日本のラップの歴史や文化的背景を紹介することができました。
- ・浜北文化協会との協働により、所属する文化団体による絵手紙やつまみ細工などの作品展示を行いました。この展示により、ミュージアムの来場者に地域の文化活動を紹介することができました。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数(人)	内容
浜松市楽器博物館出張展示「世界のラップたち」	4/1～5/24 (3/19～)	※1,898	令和3年度から引き続き、浜松市楽器博物館所蔵の世界のラップを映像も交えて展示。
ワークショップ「まが玉作り」	5/3～5	※13	5月の連休中、児童等を主な対象として、まが玉を作るワークショップを開催。
浜北文化協会連携特別展示企画			
ひまわりの絵手紙展	6/1～26	※1,118	浜北文化協会と連携し、協会に所属しているグループの活動の成果を展示。
乃の屋 作品展	8/26～9/4	※496	
絵手紙部作品展	11/13～12/13	※1,384	
出張講座			
浜名小学校／郷土玩具・浜北の風車作り	6/22	23	浜名小学校のクラブ活動、なゆた・浜北が会場となった「はまきた産業祭」のほか、亀玉協働センター、浜名協働センターの「子どもふるさと学級」へ出向いて浜北の風車作りを教えた。
はまきた産業祭／浜北の風車	11/19・20	180	
子どもふるさと学級／浜北の風車作り	12/10 12/24	10 11	

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
ミュージアム講座			
ドキ?ドキ!縄文風マイカップ作り	11/12 1/4~15	(講座) 16 (展示) ※217	縄文土器や郷土玩具などにあつわる講座を開催。縄文風マイカップ作りでは完成させた作品をミュージアム内で展示。
クラフトバンドで作ろう! 来年の干支「卯」	12/17	12	
館内スタンプラリー	通年	※314	1階「くらしの資料館」と2階「歴史資料館」にスタンプスポットを設置し、子どもたちに楽しい学びを提供。
体験コーナーの運営	通年	※1,466	機織り機を常時可動な状態で展示しつつ体験希望者にはスタッフが織り方を指導したほか、浜北の郷土玩具「浜北の風車」作り等の体験指導。
夏の特別プログラム	8/2~28	※1,356	児童や親子向けの体験ワークショップ。展示資料と関連するおもちゃや道具の製作体験や、クイズラリーで展示を楽しく学習する機会の提供。
ひだまりコンサート	3/26	22	展示室内で行ったサロンコンサート。展示とコンサートを掛け合わせることでミュージアムの新たな魅力を引き出し、認知度を高める機会とした。
教育プログラム受入	通年	413	中高生職場体験学習、小学校校外学習等の教育機関の課外プログラムを受け入れた。
インターンシップ実習受入	8/17~20	4	静岡文化芸術大学ほか県内外からの大学生を受け入れた。
浜北文化協会との連携	通年	—	機織りや藍染め等の伝統工芸の技術指導や助言を求めるとともに協会の事務局運営を支援。
合計	12事業	8,953	※事業の一部は観覧者数と重複

イ 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)	
		大人 (高校生以上)	中学生以下
305	12,047	8,960	3,087
(305)	(9,876)	(7,322)	(2,554)

(4) 浜松市秋野不矩美術館

① 運営総括

特別展では、秋野不矩と同様にインドをテーマにした作家や、活動の拠点となった京都画壇の芸術運動、新しい日本画を創造しようとした作家の作品と秋野不矩作品とを展示することで、秋野不矩の画業や大切にしてきた表現の骨となったものの紹介、近・現代の日本画表現の変遷を辿ることができるものとなりました。

所蔵品展では、より身近に不矩作品への理解が深まるよう、展覧会ごとに展示方法を工夫し、表現意図や造形的な作品構造をわかりやすくし、鑑賞者が共感・納得できる展示・解説に努めてきました。

また、不矩作品だけでなく藤森建築に興味をもつ来館者も多いため、建築物についても説明できるよう資料を整えました。

令和4年度は指定管理受託初年度ということもあり、接客や物品販売、設備管理等に注意を払いました。特に物販は、商品レイアウトの工夫により、販売額がこれまでの300%増に達しました。併せて、様々なメディアへの広報活動にも努め、地元の新聞社や全国版新聞、スポーツ新聞、美術雑誌やファッション雑誌、建築雑誌の取材も増え、展覧会情報にとどまらない広報が充実したことで、前3か年の来館者数を上回ることができました。また、Twitter やインスタグラム等のフォロワー数も増加させることができました。

② 重点的に取り組んだ事項

- ・作品鑑賞の見やすさを考慮し、作品やキャプションの高さを来館者の年齢層を考慮し、展覧会の内容に応じて床上1,250mm～1,350mmに設定し直し、見やすく読みやすい環境改善を図りました。その結果、じっくり鑑賞する方が展覧会ごとに増えてくるようになりました。
- ・表面的な作品解説にとどまらないキャプション表現を展開し、作者及び作品理解に至るよう「目に見えている以外のものも感じ取れるようにする」ことに重点をおき、造形的な骨組、作者の意図がどのような色や形、線から表現されているかを展覧会ごとに充実させ、年度最後の展覧会では、全てオリジナルキャプションにすることができ、来館者からも「分かりやすくなった」との感想を頂くようになりました。
- ・小・中・高等学校等との教育普及事業の充実に向け、学校等の要望に合わせた校外学習やワークショップ、講演会、実技講習会、社会体験研修を実施し、秋野不矩の顕彰を図ってきました。また、特別展においても展覧会内容や作家の理解深める講座を実施し、多くの方々に受講いただけました。
- ・利用者サービス向上については、受付時の荷物置き場、高齢者が利用しやすい環境づくり、案内表示の増設、物販物のバーコード化等、約30か所の手直しを行い、スムーズな受付、会計時の時間短縮、安全管理等を充実させることができ、来館者からの評価も手ごたえのあるものとなっています。

ア 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数(人)	内容
展示事業 (8事業)			
所蔵品展 「秋野不矩 ゼロ発祥の地インド 新たなる世界へ」	4/12～5/8	※2,106	代表作「オリッサの寺院」や連作「ナヴァグラハ(九曜星)」を展示。秋野不矩が語った言葉とともにインドを主題とした作品を紹介。令和3年度からの継続企画。
所蔵品展 「秋野不矩 生命の輝きⅠ いきいきと(生き生きと)」	5/14～6/26	※1,947	第1回上村松園賞受賞作「少年群像」、晩年の大作「ガンガー1999」など、生命と自然の力を感じる作品を画業初期から後期にわたり紹介。
特別展 「インドに魅せられた画家 秋野不矩と西田俊英展」	7/16～8/21	※3,778	インドの風景・人物・暮らしを採り上げた作家の作品を展示し、その視点や作風を対比。

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
所蔵品展 「秋野不矩 生命の輝きⅡ さまざまな(様々な)」	9/2～25	※1,395	渡印前作品からインドを題材とした作品まで、人と自然をテーマに秋野不矩の幅広い作風を紹介。令和3年度購入所蔵品「暮れる海」も展示。
特別展 日本画で綴る「源氏物語五十四帖展」	10/8～11/27	※6,440	古典「源氏物語」の第一帖から第五十四帖まで、様々な日本画家が描いた連作を一堂に展示。秋野不矩画の第五十一帖「浮舟」も展示。
所蔵品展 「秋野不矩 生命の輝きⅢ 瑞々しい(みずみずしい)」	12/10～1/15	※1,280	秋野不矩作品の主要テーマであるインド情景や人々の信仰を扱った作品「海辺のコテージ」「女神ナギニー」など、鮮やかな色彩の作風を紹介。
特別展 「中村正義展 -日本画を超えて-」	1/28～3/19	※3,719	秋野不矩同様、日本画の枠を超えた作品を描き、52歳の若さで逝去した中村正義の貴重な個展。
所蔵品展 「秋野不矩 生命の輝きⅣ ざらざらと(ザラザラと)」	3/25～31	※453	「平原」「砂漠のガイド」など、秋野不矩作品の中でも特に自然と大地の触感を感じられる画を展示。次年度に継続展示。
展覧会関連事業・教育普及事業 (6事業)			
館内ギャラリートーク、ガイドツアー	通年	263	秋野不矩の画業や人物像、本館建築をより知っていただくための解説。
夏休みこどもワークショップ	8/4	22	天竜壬生ホール研修室1・2にて開催。
教育プログラム受入	通年	94	校外学習などの教育プログラムの受け入れ。
講演会事業	5/21、 7/14、 7/29、 10/14、 2/11	224	秋野不矩の人物像や作品、時代背景などを紹介する講演会等。(特別支援学校高等部、掛川市、磐田市小中学校教員、日本美術教育学会 他)
日本画と読む「源氏物語」	11/13	※31	特別展「源氏物語五十四帖展」に関連した講座。講師：松平和久 協力：浜松文芸館
中村正義展講演会	2/18	※32	特別展「中村正義展」に関連した講演会。講師：中村倫子(中村正義の美術館館長)
地域連携・広報・その他事業 (6事業★)			
市民ギャラリーの貸出	通年	4団体	2階企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し。創作活動の発表の場として活用いただいた。特別展開催期間を除いて実施。出品作家62名。
ミュージアムコンサート	1/8	※108	作品を鑑賞しながら音楽を楽しむ館内ミニコンサート。市内演奏家を起用。美術ファン以外の新規層の来館を促進。奏者：立川訓子(チェロ)
まちなかコンサート @秋野不矩美術館	中止	—	芝生広場などの館外を会場に、吹奏楽やダンスなど様々なジャンル・年齢層が出演する野外イベント

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
				ト。コロナ感染拡大防止のため中止。
	浜松市美術館「市展」への協力	年1回 (1/28、 3/19)	—	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務。 受付会場：天竜壬生ホール
	公式ホームページサイトの管理運営	通年	—	秋野不矩美術館の公式サイトを開設。特別展、所蔵品展等の最新情報を提供。
	SNSによる情報発信	通年	—	Twitter、Instagram等を活用して情報を発信。
	売店事業	通年	—	図録・ハガキ・グッズ等の販売及び在庫管理。
調査研究・保存・整理 (1事業)				
	作品および資料の研究・整理・収集	通年	—	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集への協力。
研修受入 (2事業)				
	職場体験学習受入	1/31～2/2	4	浜松市の高校生の職場体験受入。
	教職員研修受入	8/4～5	3	浜松市および近郊の教職員の研修受入。
合計		23事業★	21,899	[観覧者数と重複する人数(※の事業) 21,289人]

★中止事業は除く

イ 観覧者数

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)				
		大人 (高齢者含む)	高校生	小中学生	未就学児	その他
237	21,118	19,212	534	582	651	139

※令和4年度より指定管理開始

ウ 施設稼働率等

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人) ギャラリーのみの入場
市民ギャラリー	22.4%	116	26	1,848

※特別展開催中は施設貸出なし

※令和4年度より指定管理開始

Ⅱ 令和4年度 管理事項報告

1 会議に関する事項

(1) 評議員会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第1号議案	R4. 5. 16	理事2名の選任について（決議省略）
第2号議案	R4. 5. 16	評議員2名の選任について（決議省略）
第3号議案	R4. 6. 27	令和3年度事業報告及び会計報告の承認について
第4号議案	R4. 6. 27	評議員1名の選任について
第5号議案	R4. 6. 27	理事の選任について

(2) 理事会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第1号議案	R4. 5. 6	令和4年度臨時評議員会招集及び提出議案について（決議省略）
第2号議案	R4. 6. 10	令和3年度事業報告及び会計報告の承認について
第3号議案	R4. 6. 10	令和4年度定時評議員会の招集及び提出議案について
第4号議案	R4. 9. 28	公益財団法人浜松市文化振興財団職員就業規程の一部改正について
第5号議案	R4. 9. 28	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第6号議案	R4. 9. 28	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第7号議案	R4. 9. 28	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第8号議案	R4. 9. 28	公益財団法人浜松市文化振興財団職員等の育児休業等に関する規程の一部改正について
第9号議案	R4. 11. 25	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について（決議省略）
第10号議案	R4. 11. 25	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第11号議案	R4. 11. 25	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第12号議案	R4. 12. 16	令和5年度事業計画の一部策定について
第13号議案	R5. 3. 17	公益財団法人浜松市文化振興財団職員就業規程の一部改正について
第14号議案	R5. 3. 17	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第15号議案	R5. 3. 17	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第16号議案	R5. 3. 17	役員等賠償責任保険の契約加入について

議決番号	開催年月日	件名
第17号議案	R5. 3. 17	令和5年度事業計画の策定について
第18号議案	R5. 3. 17	令和5年度収支予算の策定について
第19号議案	R5. 3. 17	特定費用準備資金の目的外取崩しについて
第20号議案	R5. 3. 17	特定費用準備資金の積立について
第21号議案	R5. 3. 17	特定費用準備資金の積立計画の変更について

(3) 経営会議開催概況

ア 実施概況

15回開催（原則月2回、第2・第4金曜日）

イ 出席者

役員 理事長、副理事長、常務理事

事務局 事務局長、文化事業課長、経営企画課長、議題に関する課長・担当課長・専門監

2 役員等に関する事項

(1) 役員等名簿（令和5年3月31日現在）

役職	氏名
代表理事	花井 和徳
副理事長	山崎 貴裕
常務理事	寺田 聖子
理事	斉藤 薫
理事	石川 晃三
理事	遠藤 邦次
理事	松下 育蔵
理事	佐々木 右子
理事	梶山 久美
監事	池浦 捷行
監事	藤井 洋子

役職	氏名
評議員	日下 昌和
評議員	松木 温
評議員	加藤 祐輔
評議員	丸山 晃司
評議員	鈴木 伸幸
評議員	宮崎 正
評議員	横田 みどり
評議員	杉山 岳弘
評議員	伊藤 充宏
評議員	西松 敬恭
評議員	佐藤 典子

(2) 役員等の異動

ア 就任

役職名	氏名	就任日
(理事) 代表理事	花井 和徳	R4. 6. 1 R4. 6. 27 ※※
副理事長	山崎 貴裕	R4. 6. 27※
常務理事	寺田 聖子	R4. 6. 27※
理事	斉藤 薫	R4. 6. 27※
理事	石川 晃三	R4. 6. 27※
理事	遠藤 邦次	R4. 6. 27※
理事	松下 育蔵	R4. 6. 1 R4. 6. 27※
理事	佐々木 右子	R4. 6. 27※
理事	梶山 久美	R4. 6. 27※
(代表理事) 理事	伊藤 修二	R4. 6. 27※

役職名	氏名	就任日
評議員	松木 温	R4. 6. 1
評議員	加藤 祐輔	R4. 6. 1
評議員	伊藤 充宏	R4. 6. 28

※印 令和4年度定時評議員会終結時をもって任期満了の後、重任

*印 代表理事就任

イ 退任または辞任

役職名	氏名	退任・辞任日
理事	伊熊 元則	R4. 4. 20
(理事) 代表理事	花井 和徳	R4. 6. 27※
副理事長	山崎 貴裕	R4. 6. 27※
常務理事	寺田 聖子	R4. 6. 27※
理事	斉藤 薫	R4. 6. 27※
理事	石川 晃三	R4. 6. 27※
理事	遠藤 邦次	R4. 6. 27※
理事	松下 育蔵	R4. 6. 27※
理事	佐々木 右子	R4. 6. 27※
理事	梶山 久美	R4. 6. 27※
(代表理事) 理事	伊藤 修二	R4. 6. 27 ※※ R4. 6. 28

役職名	氏名	退任・辞任日
評議員	海野 俊也	R4. 6. 27

※印 令和4年度定時評議員会終結時をもって任期満了の後、重任。

*印 代表理事退任

3 職員に関する事項

(単位：人)

所属	R5. 3. 31 職員数計	R5. 3. 31 職員数内訳				備考 R4. 3. 31 職員数
		市派遣	正規職員	契約職員	嘱託員	
事務局長	1	0	0	0	1	1
文化事業課	21	0	13	0	8	23
アクトシティ浜松	20	0	6	2	12	22
クリエート浜松	7	0	3	0	4	8
浜松市浜北文化センター 浜松市・市民ミュージアム浜北	5	0	3	0	2	5
浜松市なゆた・浜北	—	(指定管理共同事業体で運営)				—
浜松市天竜壬生ホール	4	0	1	2	1	3
浜松市市民音楽ホール	6	0	3	0	3	6
浜松市楽器博物館	10	0	4	0	6	10
浜松文芸館	3	0	0	0	3	3
浜松市秋野不矩美術館	4	0	2	0	2	—
経営企画課	11	0	8	1	2	10
計	92	0	43	5	44	91